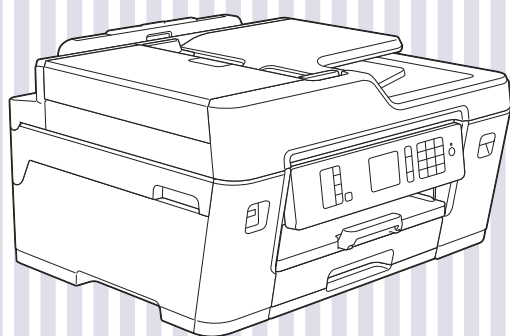


PRIVIO MFC-J6580CDW ユーザーズガイド －応用編－



ブラザーのサポートサイトにアクセスして
最新の情報を調べる

support.brother.co.jp

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章
はじめに

第2章
お好みで設定する

第3章
コピー

第4章
スキャン

第5章
メディアプリント

第6章
ファクス

第7章
電話帳

第8章
転送・リモコン機能

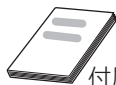
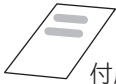
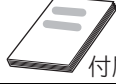
第9章
こんなときは

第10章
付録 (索引)

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ 製品に付属されています

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。 はじめにお読みください。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属
3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について説明しています。	 付属

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

ユーザーズガイド 応用編 基本編で使いかたを説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	 support.brother.co.jp/j/d/b4m2
ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。 また、本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法、クラウド接続、モバイル機能やモバイルプリント&スキャンについて説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法などを説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
support.brother.co.jp/j/d/b4m2

目次

マニュアルの構成	2
目次	3
本書の見かた	5
編集ならびに出版における通告	5
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	5
商標について	6

第 1 章 はじめに 7

画面の操作方法	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	13
用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする	13
用紙トレイ 1 に A3、B4 (JIS) の用紙をセット する	16
用紙トレイ 1 に L 判、はがきなどの小サイズ紙を セットする	19
用紙トレイ 1 に封筒をセットする	21
多目的トレイにセットする	22
用紙トレイの設定をする	25
原稿のセット	26
原稿の読み取り範囲	26
ファクス送受信テストをする	27

第 2 章 お好みで設定する 29

日付と時刻を設定する	30
音量を設定する	32
画面の設定を変更する	33
スキャンモードの初期画面を設定する	33
画面の明るさを設定する	33
キーボードの文字配列を変更する	34
画面の表示言語を設定する	34
電力を節約する	35
スリープモードに入る時間を設定する	35
印刷音を軽減する	36
ショートカットを登録する	37
ショートカットに機能や設定条件を登録する	37
登録したショートカットを呼び出す	37
ショートカットを編集する	38
電話 / ファクス回線種別を設定する	39
かんたんファクス設定をする	40
電話 / ファクス回線のいろいろな接続	41
ひかり電話をご利用の場合	42
ADSL をご利用の場合	42
ISDN をご利用の場合	43
デジタルテレビを接続する場合	43
構内交換機 (PBX) ・ビジネスホンをご利用の場合 ...	44

第 3 章 コピー 45

いろいろなコピー	46
設定を変えてコピーするには	46
スタック / ソートコピーする	48
レイアウトコピーする	49
原稿の傾きを補正してコピーする	52
両面コピーする	53
インクを節約してコピーする	54
コピー時の裏写りを抑える	55
ブックコピーする	55
コピーに文字を重ねる	56
原稿の地色を除去してコピーする	56
A3 用紙を使った便利なコピー	57

第 4 章 スキャン 59

スキャンしたデータをメディアに保存する	60
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに 保存する	60
複数の原稿を一度にスキャンする	61

第 5 章 メディアプリント 63

写真を直接プリントする	64
使用できる USB フラッシュメモリー	64
設定を変えてプリントするには	64
インデックスシートをプリントする	66
インデックスシートの画像の番号を指定して プリントする	66

第 6 章 ファクス 69

送信

ファクスの便利な送りかた	70
設定を変えてファクスするには	70
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	72
相手先の受信音を確認してから送る	73
複数の相手先に同じ原稿を送る	74
内容を確認してから送る	76
時間を指定して送る	78
同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信に まとめる	79
原稿をすぐに送る	80
海外へ送る	81
パソコンからファクスを送る	83
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	84
外線発信番号を設定する	85
ファクス誤送信防止機能を設定する (ダイヤル制限機能)	86

IP ファクスの設定をする (データコネクト設定)	87
------------------------------------	----

受信

ファクスの見かた	88
受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信) /印刷する	88
ファクスを自動的に印刷する (みるだけ受信を 解除する)	91
ファクスの便利な受けかた	92
電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	92
自動的に縮小して受ける	93
受信日時を付けて印刷する	93
本製品と接続している電話機の操作でファクスを 受信する	94
ファクスをメモリーで受信する	95

通信管理

通信状態を確かめる	99
送信待ちファクスを確認・中止する	99
通信管理レポートを印刷する	100
送信結果レポートを印刷する	101
着信履歴リストを印刷する	102

第 7 章 電話帳 103

電話帳を利用する	104
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	104
電話帳の内容を変更する	106
グループダイヤルに登録する	107
パソコンを使って電話帳に登録する	108

第 8 章 転送・リモコン機能 109

外出先から本製品を操作する	110
暗証番号を設定する	110
外出先から本製品を操作する	111
外出先に転送する	113
ファクスが届いたことを電話で知らせる	113

第 9 章 こんなときは 115

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	116
タッチパネルを清掃する	116
本製品の外側を清掃する	116
本体内部を清掃する	117
排紙ローラーを清掃する	118
インクがなくなったときは	120
インクカートリッジを交換する	120
インク残量を確認する	122
インクカートリッジの型番を確認する	122
印刷品質が良くないときは	123
定期メンテナンスについて	123
プリントヘッドをクリーニングする	123

用紙送り量を補正する	123
印刷設定オプションを変更する	124

困ったときは

こんなときは	125
本製品の設定内容や機能を確認する	125

第 10 章 付録 127

文字の入力方法	128
入力画面例	128
機能一覧	130
仕様	152
使用環境	157
索引	158

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2017 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。support.brother.co.jp

商標について

Windows、Windows Vista、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Intel は、米国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Android は、Google Inc. の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。

Wi-Fi[®]、および Wi-Fi Direct[®] は、Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

Wi-Fi Protected Setup[™] (WPS)、WPA[™]、WPA2[™] は、Wi-Fi Alliance[®] の商標です。

Nuance、PaperPort は、米国およびその他の国における Nuance Communications, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

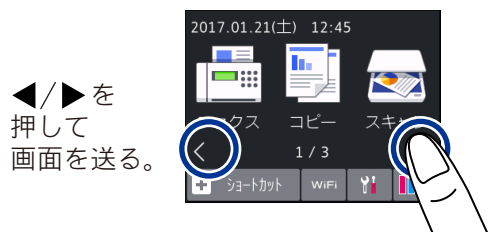
第 1 章

はじめに

画面の操作方法	8
操作例	8
用紙のセット	10
使用できる用紙	10
用紙の印刷範囲	13
用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする	13
用紙トレイ 1 に A3、B4（JIS）の用紙をセットする	16
用紙トレイ 1 に L 判、はがきなどの小サイズ紙をセッ トする	19
用紙トレイ 1 に封筒をセットする	21
多目的トレイにセットする	22
用紙トレイの設定をする	25
コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを 選択する	25
トレイの優先順位を変更する	25
原稿のセット	26
原稿の読み取り範囲	26
ファクス送受信テストをする	27

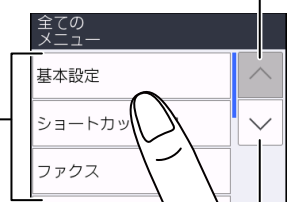
画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面を送ります。



項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

灰色表示は、続きがないことを示します。



項目の続きがあります。

ボタンを押すと設定が有効になります。

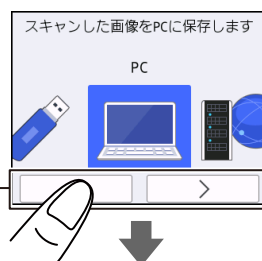


キーボードを押して入力します。



入力値を確定します。

◀/▶を押して、目的のメニューアイコンを中央に移動させます。



目的のメニューアイコンを押します。



灰色表示は、続きがないことを示します。

重要

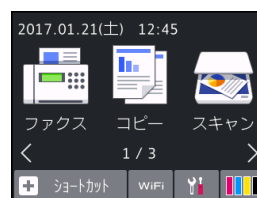
■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1

操作パネル上の [] を押す



操作パネル上の [] を押すと、1 つ前の画面に戻ることができます。

2

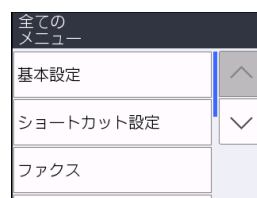
【全てのメニュー】を押す



メニュー画面が表示されます。

3

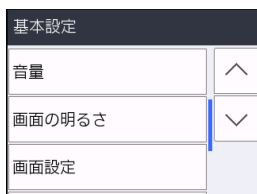
【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

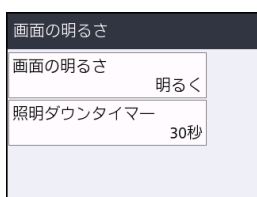
4 【画面の明るさ】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

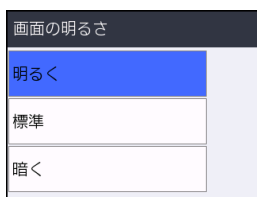


次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 希望の明るさを選ぶ



ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 🏠を押して設定を終了する

用紙のセット

印刷品質は用紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った用紙を選んでください。
印刷品質維持のため、弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 基本編「専用紙・推奨紙」

使用できる用紙

種類	坪量（厚さ）	一度に セット できる 枚数	サイズ			
			ファクス	コピー	JPEG プリント	プリンター
●用紙トレイ 1						
普通紙、再生紙	64g/m ² ～ 120g/m ² (0.08mm～0.15mm)	250 ^{*1}	A3 B4（JIS） A4	A3 B4（JIS） A4 B5（JIS） A5 A6 2L 判 ^{*4} L 判	A3 A4 2L 判 ^{*4} L 判	A3 B4（JIS） レジャー リーガル A4 B5（JIS） A5 B6（JIS） A6 US レター エグゼクティブ 2L 判 ^{*4} L 判
インクジェット紙	64g/m ² ～ 200g/m ² (0.08mm～0.25mm)	20				
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) ^{*3}	20				
はがき（普通紙、インク ジェット紙） ^{*6*7}	200g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	30	－	ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき（折って いないもの） ^{*7}			－	－	－	往復ハガキ
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)			－	－	－	ポストカード
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	30	－	－	－	インデックス カード
封筒	80g/m ² ～ 95g/m ² (0.52mm 以下)	10	－	－	－	角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒

種類	坪量（厚さ）	一度に セット できる 枚数	サイズ			
			ファクス	コピー	JPEG プリント	プリンター
● 多目的トレイ						
普通紙、再生紙	64g/m ² ～ 120g/m ² (0.08mm～0.15mm)	100* ²	A3 B4（JIS） A4	A3 B4（JIS） A4 B5（JIS） A5 A6 2L 判 * ⁴ L 判	A3 A4 2L 判 * ⁴ L 判	A3 B4（JIS） レジャー リーガル A4 B5（JIS） A5 B6（JIS） A6 US レター エグゼクティブ 2L 判 * ⁴ L 判
インクジェット紙	64g/m ² ～ 200g/m ² (0.08mm～0.25mm)	20* ⁸				
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.3mm 以下) * ³	20* ⁸				
はがき（普通紙、インクジェット紙） * ⁶ * ⁷	220g/m ² 以下 (0.3mm 以下)	50* ⁵	－	ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき（折っていないもの） * ⁷			－	－	－	往復ハガキ
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)			－	－	－	ポストカード
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	50	－	－	－	インデックス カード
封筒	80g/m ² ～ 95g/m ² (0.52mm 以下)	20* ⁹	－	－	－	角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒

^{*1} 80g/m² の用紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク（▼の目印）を超えないようにセットしてください。

^{*2} 80g/m² の用紙の目安です。

^{*3} ブラザーBP71写真光沢紙の坪量は260g/m²ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

^{*4} 127mm × 178mm

^{*5} 厚さ 0.23mm の用紙の目安です。

^{*6} 写真用光沢はがきは非対応です。

^{*7} はがきを手動両面印刷する場合は、多目的トレイを使用してください。

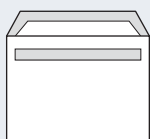
^{*8} A3、B4 (JIS)、レジャー、リーガルは、5 枚までです。

^{*9} 角形 2 号封筒は、5 枚までです。

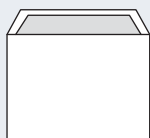
《第1章 はじめに》

重要

- 指定された用紙でも、以下の状態の用紙は使用できません。
傷がついている用紙、カールしている用紙、シワのある用紙、留め金のついた用紙
- 指定以外の用紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
 - ・ 窓付き封筒
 - ・ エンボス加工がされたもの
 - ・ 留め金のついたもの
 - ・ 内側に印刷がほどこされているもの
 - ・ ふたにのりが付いているもの



- ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



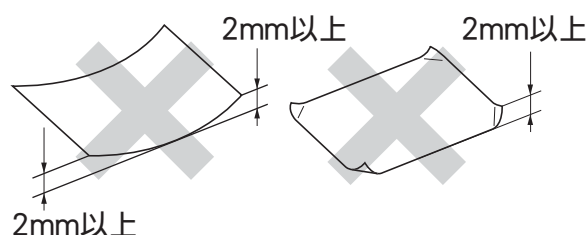
お願い

- 使用していない用紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。
 - 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
 - インクジェット紙、光沢紙には表側と裏側があります。用紙の取扱説明書をお読みください。
 - 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
 - ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
- ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1枚多く光沢紙が同封されています。



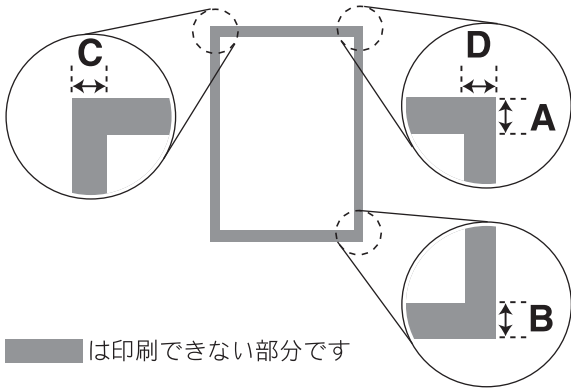
カールしている用紙について

特に、はがきや光沢紙はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。カールしている用紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、用紙づまりが発生します。

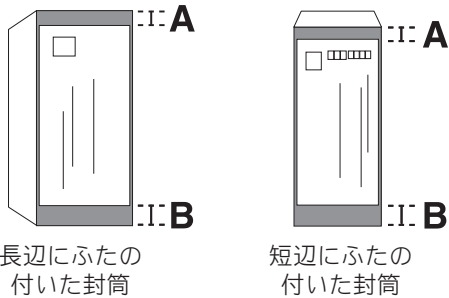


用紙の印刷範囲

用紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。



封筒の A、B の位置は下図のようになります。



(単位 : mm)

種類	A	B	C	D
封筒以外の用紙	3	3	3	3
封筒	12	12	3	3

※印刷できない部分の数値 (A、B、C、D) は、概算値です。この数値はお使いの用紙によっても変わることがあります。

用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする

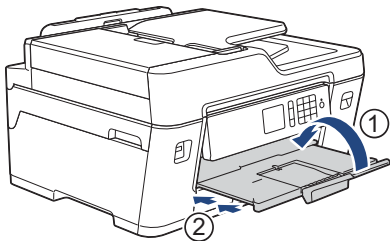
A4 の用紙をセットする手順を説明します。
用紙トレイ 1 には、同様の手順で、B5 (JIS) の用紙もセットできます。

お願い

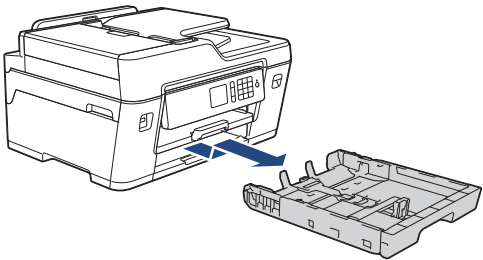
■ 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。

【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズまたは用紙タイプを変更してください。
トレイ確認の設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)

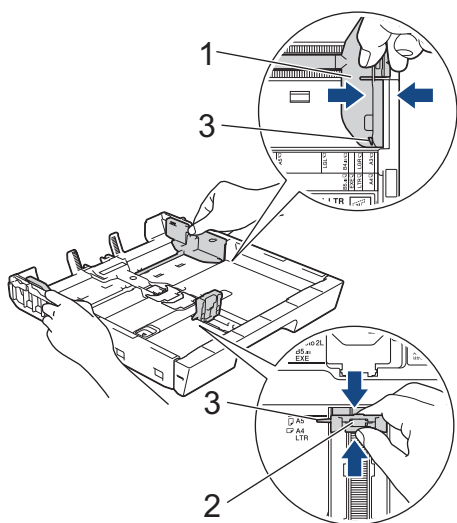


- 2 用紙トレイ 1 を矢印のように引き出す

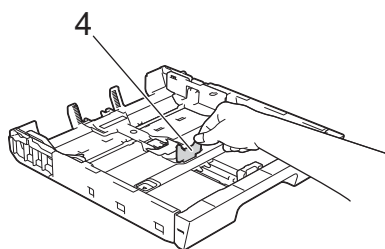


3 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) の△の目印 (3) を、用紙サイズを目盛りに合わせて

幅のガイドは両手で動かしてください。



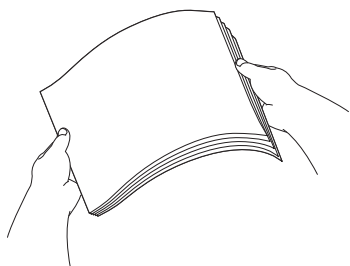
 B5 (JIS) の用紙をセットする場合は、ストッパー (4) を起こします。



4 用紙をさばく

用紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

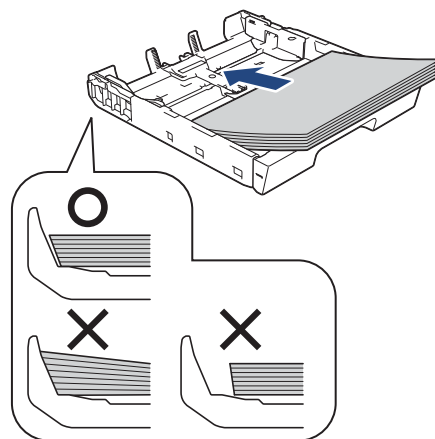
用紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



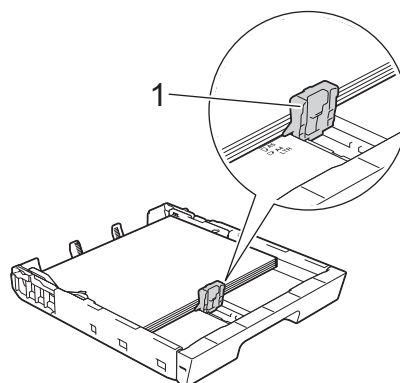
5 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

横方向

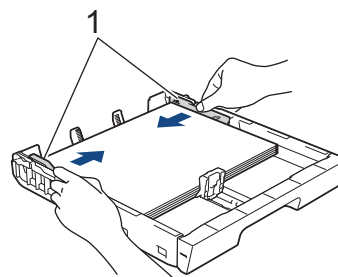


6 用紙が、長さのガイド (1) に合っていることを確認する

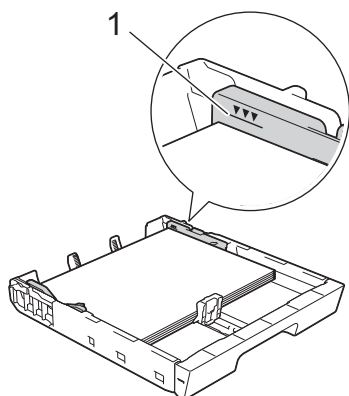


7 幅のガイド (1) を、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

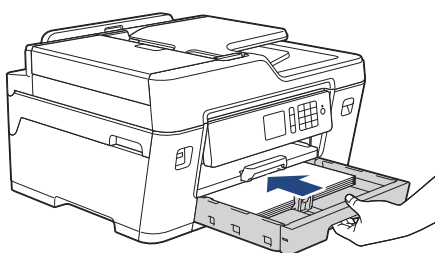


- 8** 用紙がトレイ内側の▼マーク (1) を超えていないことを確認する



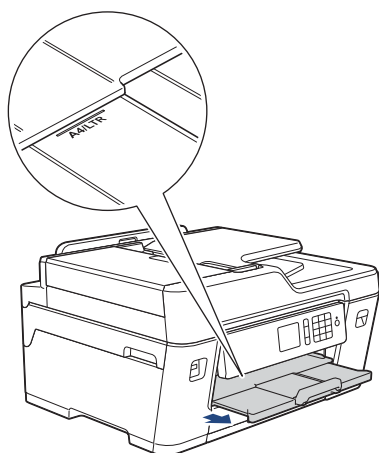
- 9** 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイ 1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



 用紙トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりや用紙送り失敗の原因になります。

- 10** 用紙ストッパーを「A4/LTR」の位置まで引き出す



- 11** 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」

⇒ 25 ページ「用紙トレイの設定をする」

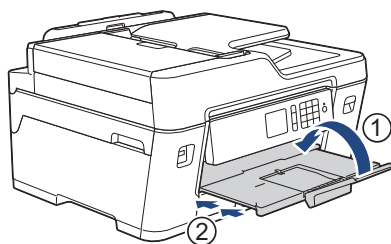
用紙トレイ 1 に A3、B4 (JIS) の用紙をセットする

お願い

- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。

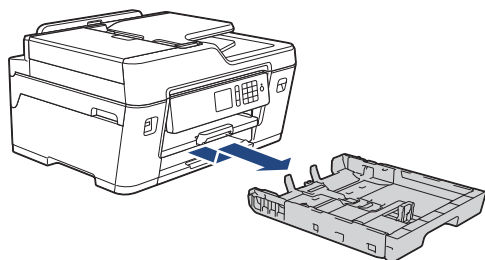
【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズまたは用紙タイプを変更してください。
トレイ確認の設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



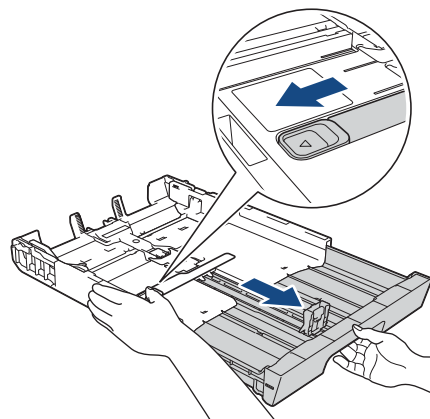
- 2 用紙トレイ 1 を矢印のように引き出す

トレイは平らな場所に置いてください



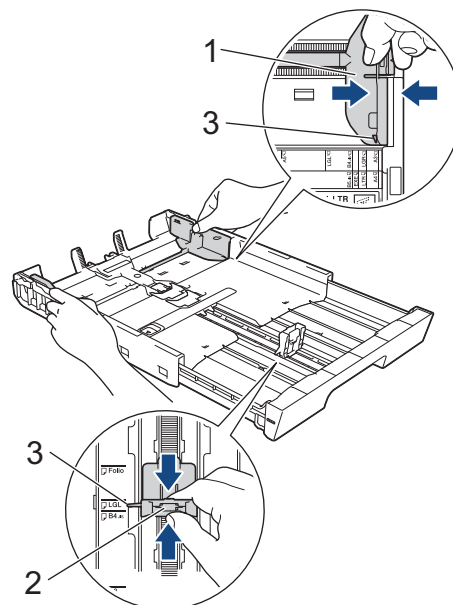
- 3 緑色のロックレバーを左へ押したまま、トレイを引き伸ばす

トレイが止まる位置まで完全に伸ばしてください。



- 4 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) の△の目印 (3) を、用紙サイズを目盛りに合わせる

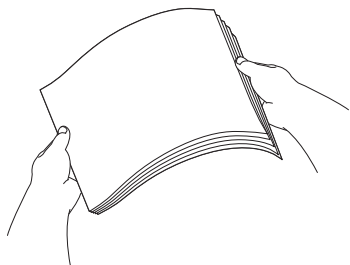
幅のガイドは両手で動かしてください。



5 用紙をさばく

用紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

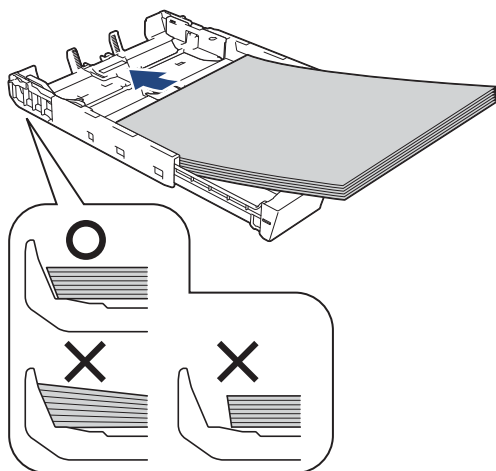
用紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



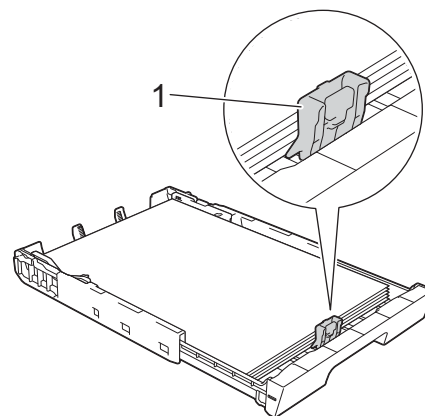
6 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

縦方向

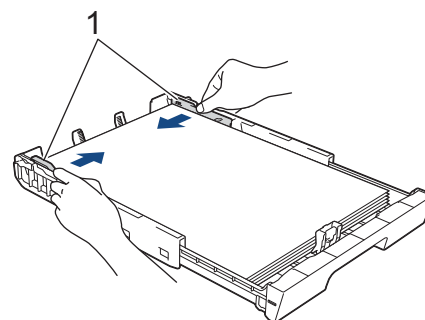


7 用紙が、長さのガイド (1) に合っていることを確認する

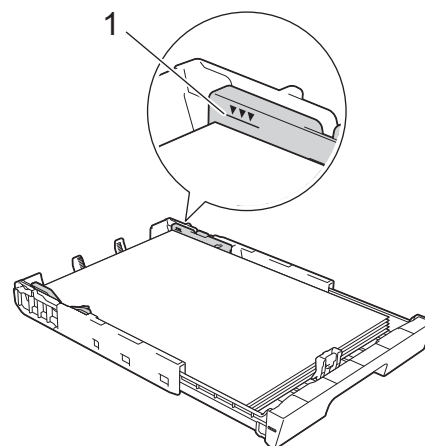


8 幅のガイド (1) を、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

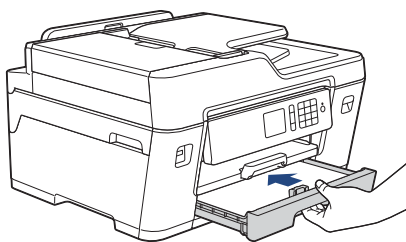


9 用紙がトレイ内側の▼マーク (1) を超えていないことを確認する



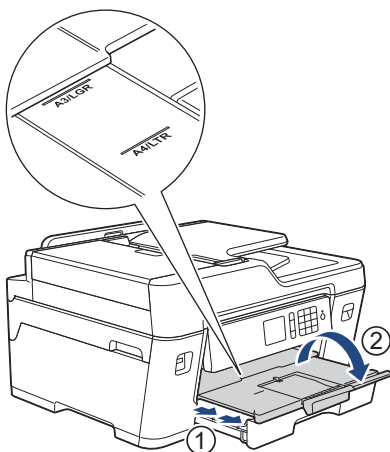
10 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイ 1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



 用紙トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりや用紙送り失敗の原因になります。

11 用紙ストッパーを「A3/LGR」の位置まで引き出し (1)、フラップを開く (2)



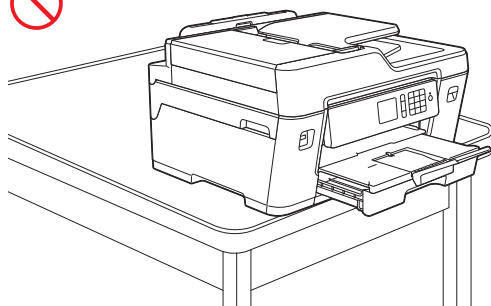
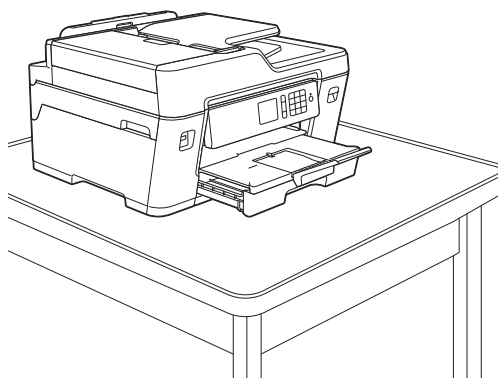
12 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」

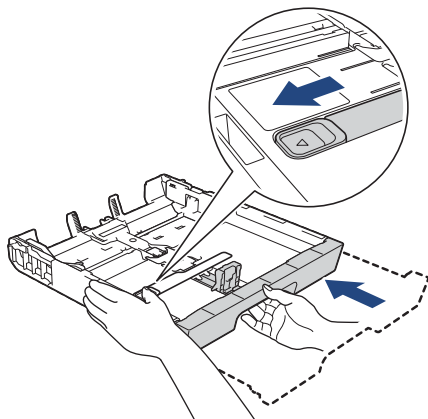
⇒ 25 ページ「用紙トレイの設定をする」

! 注意

- A3 や B4 (JIS) サイズなどの大きな用紙は、用紙トレイを拡張して使用します。その場合は、拡張した用紙トレイを含む本製品全体が収まる広さの、平らな場所に設置してください。拡張した用紙トレイは本体から突き出すため、設置面からはみ出していると、通りがかりにぶつかるなどして、けがや本製品の落下による事故につながるおそれがあります。



- ☞ 拡張したトレイを元に戻すには、以下の手順で行います。
用紙を取り除き、平らな場所にトレイを置きます。
緑色のロックレバーを左側へ動かしたまま、トレイを前方向に押して元の位置に戻します。



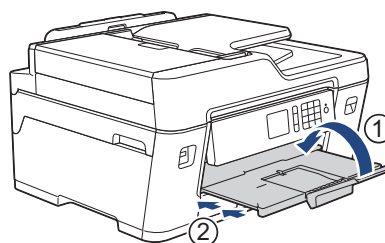
用紙トレイ1にL判、はがきなどの小サイズ紙をセットする

お願い

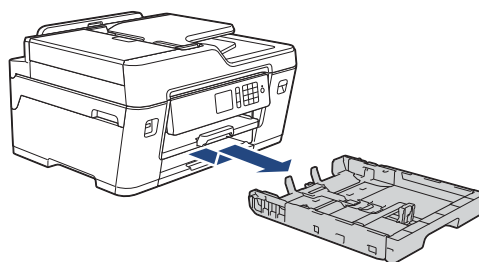
- 種類の異なる用紙を一緒にセットしないでください。
- インクジェット紙はがきは、自動両面印刷できません。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

- ☞ 【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズまたは用紙タイプを変更してください。
- トレイ確認の設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

- 1** 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)

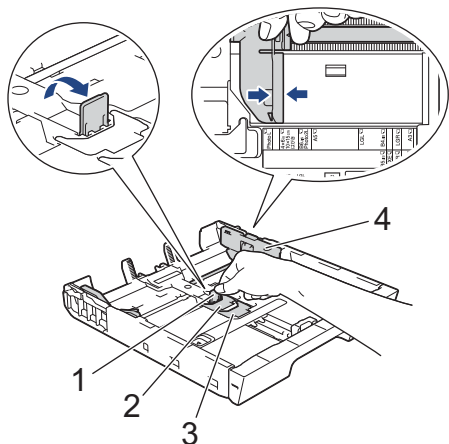


- 2** 用紙トレイ1を矢印のように引き出す



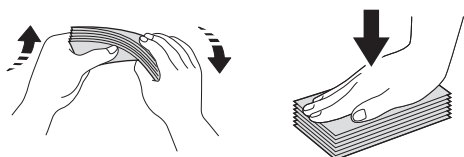
3 セットする用紙サイズのストッパー (1)、(2) または (3) を起こし、幅のガイド (4) を、用紙サイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



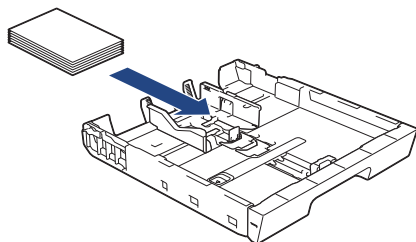
- L判の場合は、Photo L ストッパー (1) を起こす
- はがきの場合は、はがきストッパー (2) を起こす
- 2L判、B6 (JIS) の場合は、Photo 2L ストッパー (3) を起こす

4 用紙にゆがみや折れがあればよくなりし、上下左右をそろえる



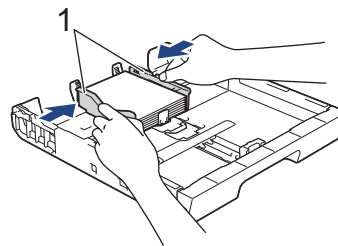
5 印刷したい面を下にして、用紙をセットする

用紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



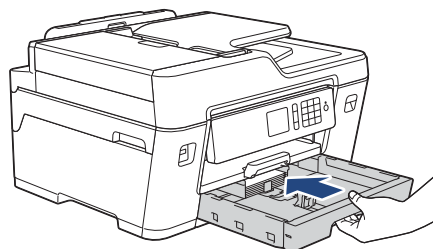
6 幅のガイド (1) を、用紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



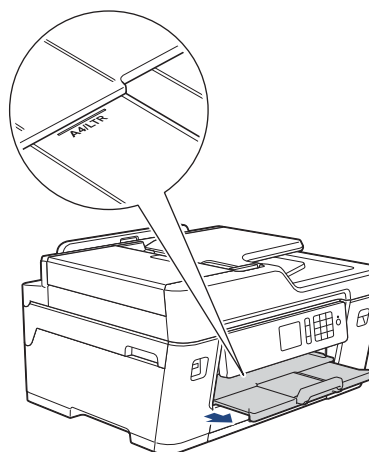
7 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイ 1 をゆっくりと確実に本製品に戻します。



❗ 用紙トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりや用紙送り失敗の原因になります。

8 用紙ストッパーを「A4/LTR」の位置まで引き出す



9 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」

⇒ 25 ページ「用紙トレイの設定をする」

用紙トレイ 1 に封筒をセットする

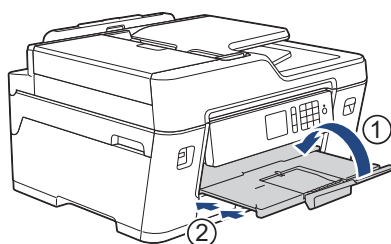
お願い

- 長辺にふたの付いた封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。
- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、封筒を1枚ずつセットしてください。

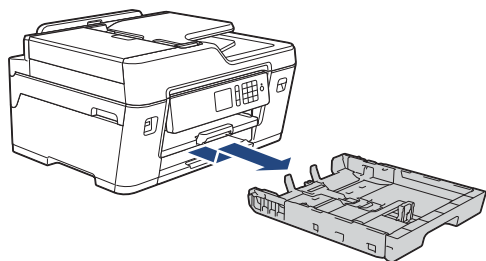
【トレイ確認】が【オン】の場合は、用紙トレイを引き抜いたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズまたは用紙タイプを変更してください。

トレイ確認の設定については⇒ ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

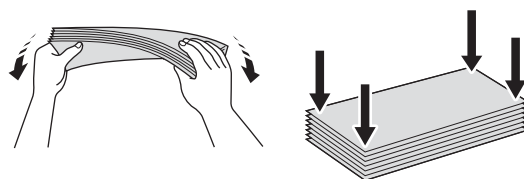
- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



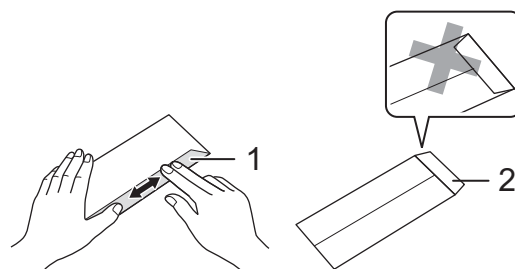
- 2 用紙トレイ 1 を矢印のように引き出す



- 3 封筒にゆがみや折れがあればよくならし、上下左右をそろえる

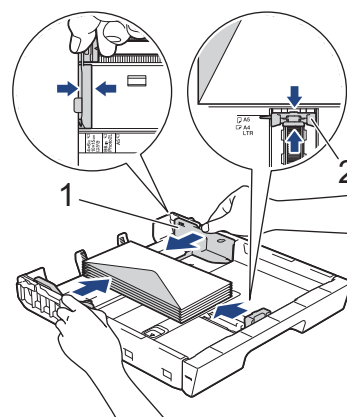


- 長辺に付いたふた (1) はしっかり折りたたんでください。
- 短辺に付いたふた (2) は折りたたまないでください。



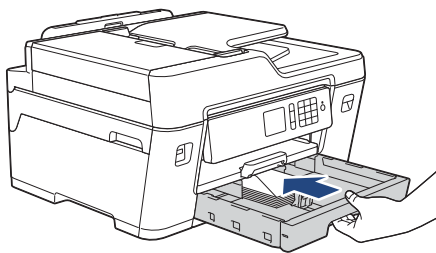
- 4 封筒を用紙トレイの中央にセットし、幅のガイド (1) と長さのガイド (2) を封筒に合わせる

- 印刷面を下にしてセットしてください。
- 長辺に付いたふたはトレイの左側にくるようにセットしてください。
- 短辺に付いたふたが、長さのガイド側にくるようにセットしてください。
- 封筒がトレイの中で平らになっていることを確認してください。
- 幅のガイドは両手で動かしてください。



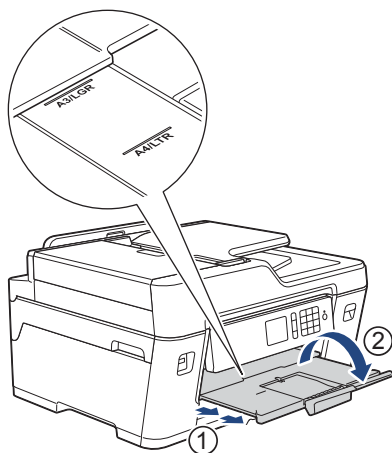
5 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



用紙トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりや用紙送り失敗の原因になります。

6 用紙ストッパーを「A3/LGR」の位置まで引き出し (1)、フラップを開く (2)



7 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」

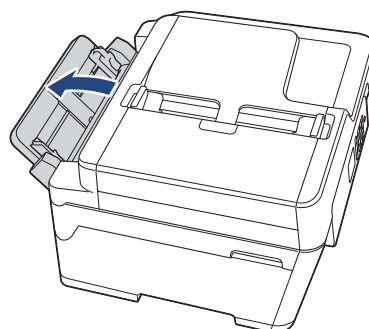
⇒25 ページ「用紙トレイの設定をする」

多目的トレイにセットする

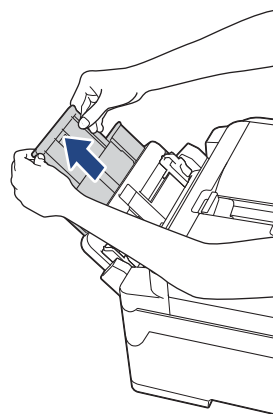
【トレイ確認】が【オン】の場合は、多目的トレイに用紙をセットしたとき、用紙サイズや用紙タイプを変更するかどうかの確認メッセージが表示されます。画面の指示に従って、必要に応じて用紙サイズまたは用紙タイプを変更してください。

トレイ確認の設定については⇒ユーザーズガイド 基本編「トレイ確認を設定する」

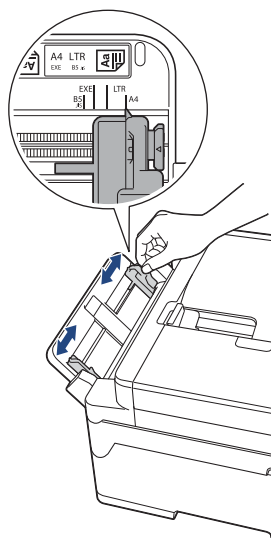
1 多目的トレイを開く



A4 サイズより大きい用紙をセットする場合は、両手でトレイユニットを持ち、止まる位置まで引き上げてください。



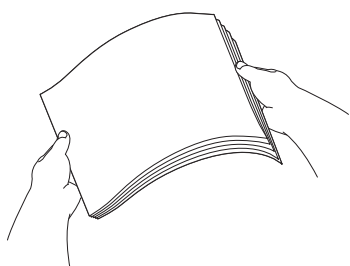
2 用紙ガイドをつまんで動かし、用紙のサイズの目盛りに合わせて



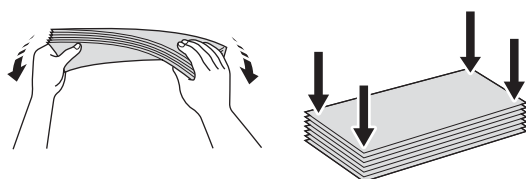
3 用紙をさばく

用紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

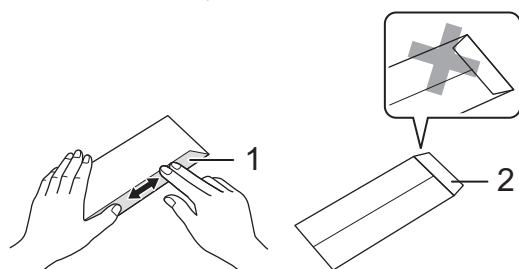
用紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



- はがきや封筒にゆがみや折れがあればよくならし、上下左右をそろえる



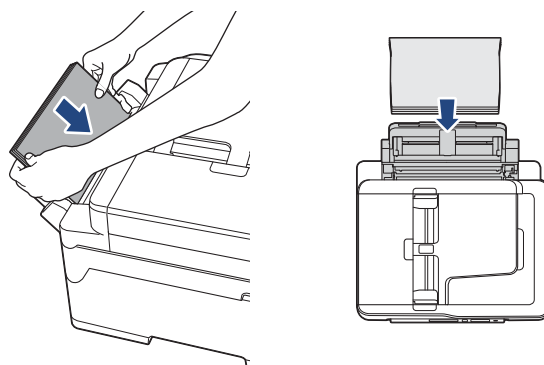
- 長辺に付いたふた (1) はしっかり折りたたんでください。
- 短辺に付いたふた (2) は折りたたまないでください。



4 印刷する面を上にして、用紙をセットする

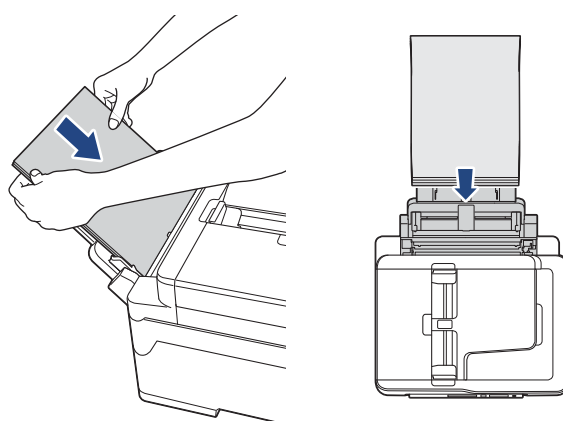
- A4、US レター、エグゼクティブ、B5 (JIS)

横方向

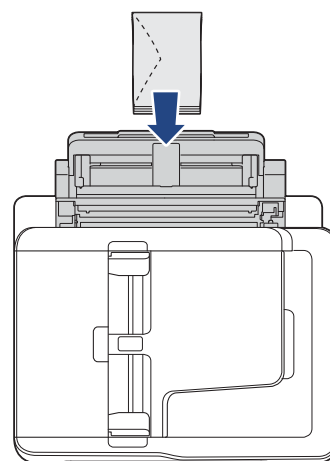


- A3、B4 (JIS)、レジャー、リーガル、A5、A6、B6 (JIS)、L 判、2L 判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、インデックスカード、封筒

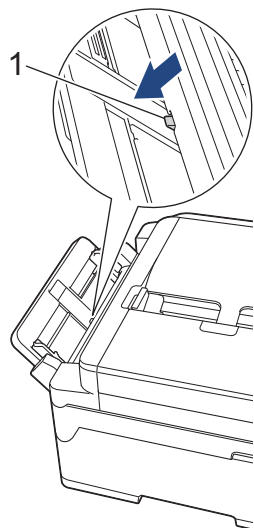
縦方向



- ④ 長辺に付いたふたはトレイの左側にくるようにセットしてください。

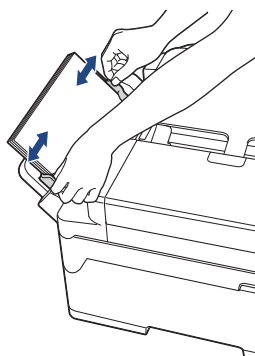


-  多目的トレイに用紙がセットできない場合は、解除レバー (1) を本体の後ろ方向に押しながら、用紙をセットしておしてください。



5 用紙ガイドを、用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。

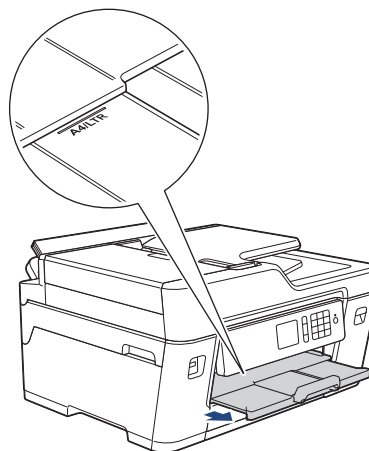


お願い

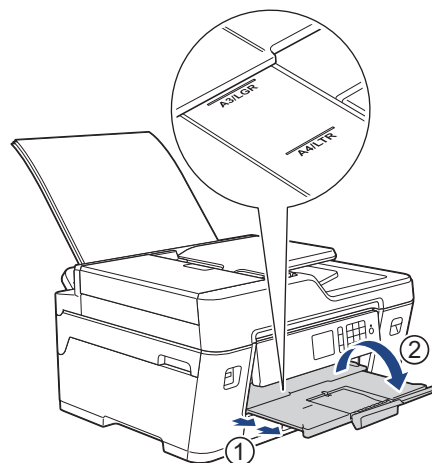
- ガイドで用紙を強くはさまないでください。用紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、用紙をいったん取り出してセットし直してください。

6 用紙ストッパーを引き出す

- A4サイズ以下の用紙をセットした場合は、用紙ストッパーを「A4/LTR」の位置まで引き出す



- A4サイズより大きい用紙または封筒をセットした場合は、用紙ストッパーを「A3/LGR」の位置まで引き出し (1)、フラップを開く (2)



7 必要に応じて、用紙の種類とサイズを設定する

⇒ ユーザーズガイド 基本編「用紙の種類とサイズを設定する」

⇒ 25 ページ「用紙トレイの設定をする」

-  印刷が終了してから多目的トレイを閉じてください。

用紙トレイの設定をする

【用紙トレイ設定】

コピー、プリント、ファクス、JPEG プリントのときに使用する用紙トレイをあらかじめ選択できます。プリントのときは、使用する用紙トレイの優先順位のみ設定できます。

コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する

コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使用する用紙トレイを選択します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【用紙トレイ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 設定する機能を選ぶ

- 【トレイ設定：コピー】
コピーのときに使用する用紙トレイを設定します。
- 【トレイ設定：ファクス】
ファクスのときに使用する用紙トレイを設定します。
- 【トレイ設定：JPEG プリント (メディア)】
JPEG プリントのときに使用する用紙トレイを設定します。

4 【トレイ選択】を押す

5 使用するトレイを選ぶ

【トレイ自動選択】を選ぶと、コピーとJPEG プリントの場合は、各モードの設定に合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。ファクスの場合は、受信したファクスに合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

6 を押して設定を終了する

トレイの優先順位を変更する

トレイ設定で【トレイ自動選択】を選択した場合、またはプリント時にプリンタードライバーの給紙方法で【自動選択】を選択した場合に、使用するトレイの優先順位を設定します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【用紙トレイ設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 設定する機能を選ぶ

- 【トレイ設定：コピー】
コピーのときに使用するトレイの優先順位を設定します。
- 【トレイ設定：ファクス】
ファクスのときに使用するトレイの優先順位を設定します。
- 【トレイ設定：プリント】
プリントのときに使用するトレイの優先順位を設定します。
- 【トレイ設定：JPEG プリント (メディア)】
JPEG プリントのときに使用するトレイの優先順位を設定します。

4 【トレイ優先順位】を押す

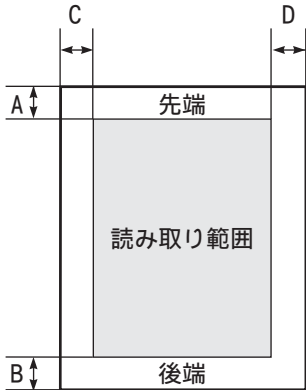
5 トレイの優先順を選ぶ

6 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



(単位：mm)

機能	原稿サイズ	A	B	C	D
ファクス	A3、 B4 (JIS)	3		4.5	
	A4	3		3	
コピー	セット可能な全てのサイズ	3		3	
スキャン		1		1	

ファクス送受信テストをする

ファクスを送受信できるかを、弊社専用回線でテストできます。
下記テスト用ファクス番号にファクスを送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスをお送りします。

テスト用ファクス番号 : 052-824-4773

発信者番号を非通知で送信すると、自動返信されません。ファクス番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

Memo

第 2 章

お好みで設定する

で
お
好
み
で
設
定
す
る

日付と時刻を設定する	30
タイムゾーンを変更する	30
音量を設定する	32
画面の設定を変更する	33
スキャンモードの初期画面を設定する	33
画面の明るさを設定する	33
キーボードの文字配列を変更する	34
画面の表示言語を設定する	34
英語表示に切り替える	34
日本語表示に切り替える	34
電力を節約する	35
スリープモードに入る時間を設定する	35
印刷音を軽減する	36
ショートカットを登録する	37
ショートカットに機能や設定条件を登録する	37
登録したショートカットを呼び出す	37
ショートカットを編集する	38
ショートカットの登録名を変更する	38
ショートカットの設定条件を変更する	38
登録したショートカットを削除する	38
電話 / ファクス回線種別を設定する	39
かんたんファクス設定をする	40
電話 / ファクス回線のいろいろな接続	41
ひかり電話をご利用の場合	42
ADSL をご利用の場合	42
IP 電話などの IP 網をご利用の場合	43
ISDN をご利用の場合	43
電話番号が 1 つの場合	43
電話番号が 2 つの場合	43
デジタルテレビを接続する場合	43
構内交換機 (PBX) ・ ビジネスホンをご利用の場合	44
本製品の外付け電話としてビジネスホンを接続する	44
本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話として使用する	44

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、発信元登録をしてあればファクスを送信したときに相手側の用紙にも印刷されます。

発信元登録については⇒ユーザーズガイド 基本編「発信元を登録する」

1 を押す

2 画面右上の日付部分(1)を押す



3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



4 画面に表示されているテンキーで西暦の下2桁を押し、【OK】を押す

2017 年の場合は、【1】【7】と押します。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を2桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】と押します。

7 【時刻】を押す

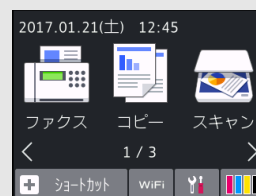
時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を24時間制で押し、【OK】を押す

午後0時45分の場合は、
【1】【2】【4】【5】と押します。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



タイムゾーンを変更する

タイムゾーン設定とは、世界標準時間と日本時間の時差の設定です。お買い上げ時は、日本国用のタイムゾーン（時差+9時間）が設定されているので、特に設定し直す必要はありません。

1 を押す

2 画面右上の日付部分(1)を押す



3 【タイムゾーン】を押す

4 画面に表示されているテンキーで【0】、【9】と押す

世界標準時間に対し日本は 9 時間早いため、09:00 の前に「+」が表示されていることを確認してください。世界標準より早いかわいかは【+/-】で切り替えることができます。

 時刻の前に表示されている「UTC」は、協定世界時 (Universal Time, Coordinated) のことで、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な国際標準時として使用されています。

5 【OK】を押す

時差 + 9 時間が設定されます。

6 を押して設定を終了する

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、
【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 変更したい音を選ぶ

- 【着信音量】
着信時のベルの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】
オンフック時の音量を調整します。

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

5 必要に応じて手順③、④を繰り返し、他の音も調整する

6 を押して設定を終了する

 着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルツ、トゥルツ」という再呼出音

 ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

スキャンモードの初期画面を設定する

【スキャン画面】

スキャンモードは、よく使う設定を初期画面にすることができます。

- 1 を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面設定】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【スキャン画面】を押す
- 4 初期画面にしたい設定を選ぶ
- 5 を押して設定を終了する

画面の明るさを設定する

【画面の明るさ】

画面の明るさと、バックライトを暗くするまでの時間を設定できます。

- 1 を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の明るさ】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 変更したい項目を選ぶ
 - 【画面の明るさ】：
画面の明るさを調整します。
 - 【照明ダウタイマー】：
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）
- 4 目的の設定を選ぶ
 - 画面の明るさ：
【明るく／標準／暗く】から選びます。
 - 照明ダウタイマー：
【10秒／30秒／1分／2分／3分／5分】から選びます。
- 5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、画面設定を変更する
- 6 を押して設定を終了する

キーボードの文字配列を変更する

【キーボード設定】

アルファベットキーボードの文字配列を2種類の中から選べます。

お買い上げ時は、市販されている一般的なパソコンのキーボードで使われる、QWERTY 配列に設定されています。

- 1  を押す
- 2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【キーボード設定 (英字入力)】を順に押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 3 【QWERTY 入力】または【かなめくり入力】を押す
- 4  を押して設定を終了する

画面の表示言語を設定する

【表示言語設定】

画面に表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。

This setting allows you to change LCD language to English.

- 1  を押す
(Press )
- 2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】を順に押す
(Press 【全てのメニュー】 > 【初期設定】 > 【表示言語設定】)
- 3 【英語】を押す
(Press 【英語】)
- 4  を押して設定を終了する
(Press  to exit.)

日本語表示に切り替える

- 1  を押す
- 2 【All Settings】、【Initial Setup】、【Local Language】を順に押す
- 3 【Japanese】を押す
- 4  を押して設定を終了する

電力を節約する

スリープモードに入る時間を設定する

【スリープモード】

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1  を押す

2 **【全てのメニュー】、【基本設定】、
【スリープモード】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 **希望の時間を選ぶ**

【1分／2分／3分／5分／10分／30分／60分】から選びます。

4  を押して設定を終了する

印刷音を軽減する

静音モードを【オン】に設定すると、印刷速度を遅くして印刷音を減らすことができます。

- 1  を押す
- 2 【静音モード】を押す
- 3 【オン】を押す
- 4  を押して設定を終了する

待ち受け画面に静音モードアイコンが表示されます。

ショートカットを登録する

ファクス、コピー、スキャン、クラウド、お役立ちツールのメニューでよく使う設定条件を「ショートカット」として登録することができます。一度登録しておけば、よく使うメニュー設定をすぐに呼び出して使うことができます。

 メニューによって、ショートカット登録ができない設定条件があります。

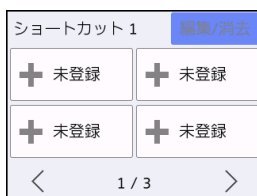
ショートカットに機能や設定条件を登録する

ここでは、例として「コピー」のショートカット登録方法を説明します。その他のファクス、スキャン、クラウド、お役立ちツールについてのショートカット登録方法も以下の手順に類似しています。

1 待ち受け画面の【ショートカット】を押す

2 【未登録】のボタンを押す

【未登録】のボタンが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



 ワンタッチボタンにショートカットを登録したい場合は、操作パネル上のワンタッチボタンを押してください。

3 【コピー】を押す

4 【設定変更】を押し、必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、ショートカット登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

5 必要な設定が終わったら、【OK】を押す

6 【ショートカット登録】、【OK】を順に押す

7 画面に表示されたキーボードで名前を入力して、【OK】を押す

を押してすでに付いている名前はいったん消してください。

⇒ 128 ページ「文字の入力方法」

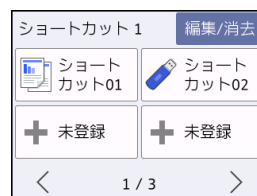
 直接スタート機能を有効にするかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。ショートカットボタンを押した際に、すぐに機能を実行させたい場合は、直接スタート機能を有効にしてください。

登録したショートカットを呼び出す

1 待ち受け画面の【ショートカット】を押す

2 呼び出したいショートカットを押す

目的のボタンが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。



画面に設定条件が表示されます。スタートキーを押すと機能を実行できます。直接スタート機能を有効にしている場合は、設定条件の画面は表示されずに、機能が実行されます。

 ワンタッチボタンに登録したショートカットを呼び出す場合は、操作パネル上のワンタッチボタンを押してください。

ショートカットを編集する

ショートカットの登録名を変更する

- 1 待ち受け画面の【ショートカット】を押す
- 2 【編集 / 消去】を押す
- 3 名前を編集したいショートカットボタンまたは操作パネル上のワンタッチボタンを押す
- 4 【名前の変更】を押す
- 5 を押して古い名前を消去する
長押しすると登録名は一度に消去されます。
- 6 画面に表示されたキーボードで名前を再入力して、【OK】を押す

ショートカットの設定条件を変更する

- 1 待ち受け画面の【ショートカット】を押す
- 2 【編集 / 消去】を押す
- 3 設定を変更したいショートカットボタンまたは操作パネル上のワンタッチボタンを押す
- 4 【編集】を押す
- 5 設定条件を変更する
- 6 【ショートカット登録】、【OK】を順に押す

 直接スタート機能を有効にするかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。ショートカットボタンを押した際に、すぐに機能を実行させたい場合は、直接スタート機能を有効にしてください。

登録したショートカットを削除する

- 1 待ち受け画面の【ショートカット】を押す
- 2 【編集 / 消去】を押す
- 3 削除したいショートカットボタンまたは操作パネル上のワンタッチボタンを押す
- 4 【消去】を押す
- 5 【はい】を押す

電話 / ファクス回線種別を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 【ファクス】、【オンフック】を順に押し、「ツー」という音が聞こえることを確認する

お願い

■ みるだけ受信を【オン（画面で確認）】に設定している場合は、【ファクス】、【ファクス送信】、【オンフック】の順に押して確認してください。

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 【オンフック】を押して回線を切り、を押す

3 回線種別を確認する

これまで
お使いの
電話機は？



ダイヤル
したときの
音は？

受話器から
「ピッポッパ」
と音がする

受話器から
「ピッポッパ」
と音がしない

お使い
の電話
回線は、
右のと
おりです。

プッシュ回線

ダイヤル回線

本製品を20PPSに
設定して、177(天
気予報)にかける
<通話料金がかかります>

つながる

つな
が
ら
ない

設定する
回線種別

プッシュ
回線に
設定

ダイヤル
回線
20PPSに
設定

ダイヤル
回線
10PPSに
設定

4 を押す

5 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 回線種別を選ぶ

- ☞ 回線種別がわからないときはそれぞれ種別を順に設定してみてください。
- ☞ ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

7 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。
(通話料金がかかります)

かんたんファクス設定をする

ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定できます。本製品に外付け電話を接続する場合なども、このガイドに従って簡単に設定することができます。

1 を押す

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、
【かんたんファクス設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

3 **画面の指示に従って、設定を進める**

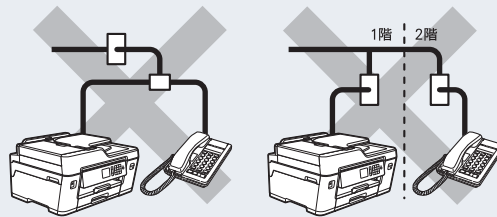
電話 / ファクス回線のいろいろな接続

本製品をファクスとして使用したり、本製品に外付け電話を接続してファクスや電話を使用したりする場合のいろいろな接続を説明します。

重要

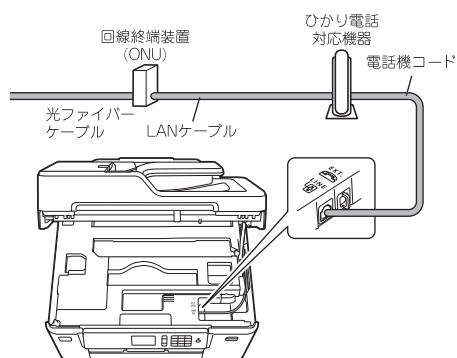
- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
- ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
 - ・ 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
 - ・ コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えるようになる可能性があります。
 - ・ 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
 - ・ 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
 - ・ ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
 - ・ パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

ブランチ接続（並列接続）

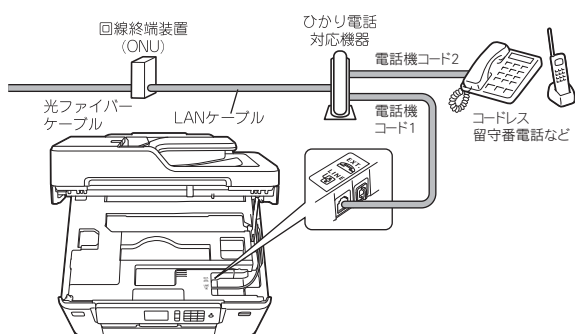


 ブランチ接続（並列接続）とは、一つの電話回線を分岐して複数台の電話機を接続することです。

ひかり電話をご利用の場合



● ひかり電話で複数番号を使う場合



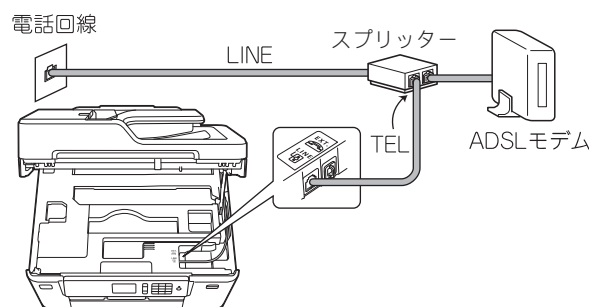
お願い

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【ブッシュ回線】に設定してください。
⇒ 39 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- 🔧 ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 🔧 ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- 🔧 回線終端装置 (ONU)、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 🔧 お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器がイラストと異なる場合があります。

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。
スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



- 🔧 お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- 🔧 詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- 🔧 ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

お願い

- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

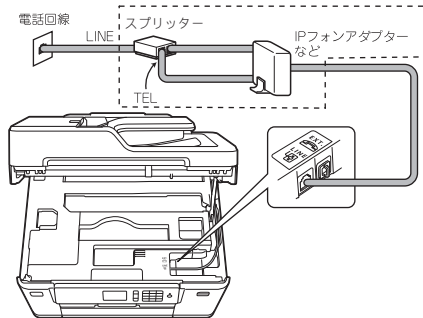
IP 電話などの IP 網をご利用の場合

(1) IP 電話をご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒39 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」

(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。



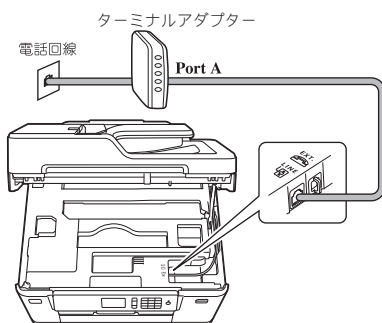
ISDN をご利用の場合

本製品を ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプターと本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるかを確認する

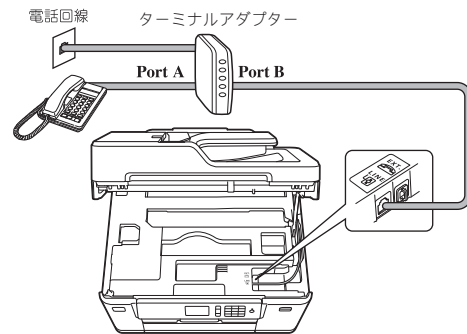
電話番号が1つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



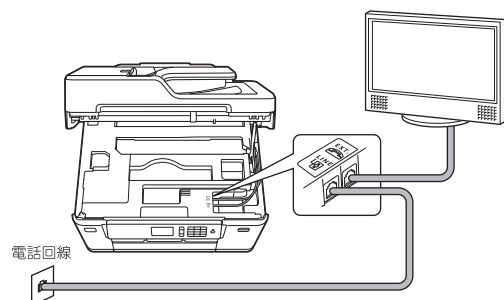
- ❏ 詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- ❏ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

- ISDN回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【光・ISDN】を設定してください。⇒ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」
 - 本製品が使用できないときは、⇒ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」をご覧ください。
- また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。製造メーカーにお問い合わせください。

デジタルテレビを接続する場合

本製品と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話接続端子に接続してください。



構内交換機 (PBX)・ビジネスホン をご利用の場合

本製品を構内交換機などに接続する場合は、次のいずれかの方法で接続してください。

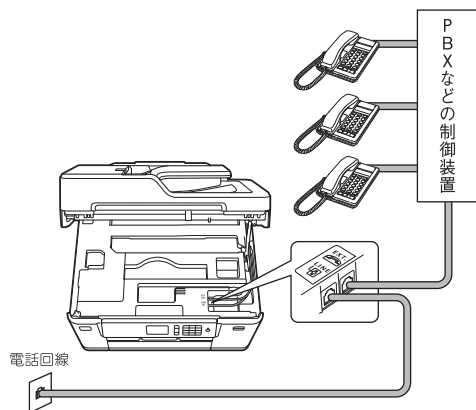
お願い

- 構内交換機、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 39 ページ「電話 / ファクス回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「特別な回線に合わせて設定する」

 ビジネスホンとは
電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などができる簡易交換機です。

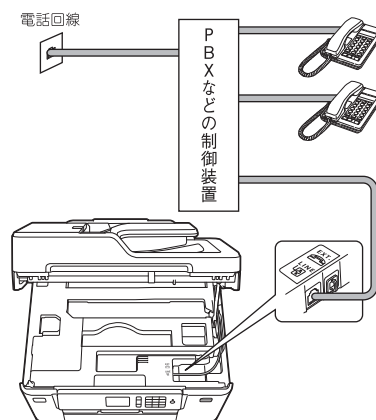
本製品の外付け電話としてビジネスホン を接続する

本製品の外付け電話接続端子に構内交換機 (PBX) などの制御装置を接続してください。



本製品を構内交換機 (PBX) の内線電話 として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



-  PBXなどの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。【特別回線対応】の設定を【PBX】に設定すると、本製品の【ナンバーディスプレイ】の設定は無効になります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

第3章

コピー

いろいろなコピー	46
設定を変えてコピーするには	46
スタック/ソートコピーする	48
レイアウトコピーする	49
2枚または4枚の原稿を1枚の用紙に並べてコピーする (N in 1 コピー)	49
カードの両面を1枚のA4用紙にコピーする (IDカードコ ピー)	50
1枚の原稿を2枚に分けてコピーする (分割コピー)	51
1枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコ ピー)	51
原稿の傾きを補正してコピーする	52
両面コピーする	53
インクを節約してコピーする	54
コピー時の裏写りを抑える	55
ブックコピーする	55
コピーに文字を重ねる	56
原稿の地色を除去してコピーする	56
A3用紙を使った便利なコピー	57

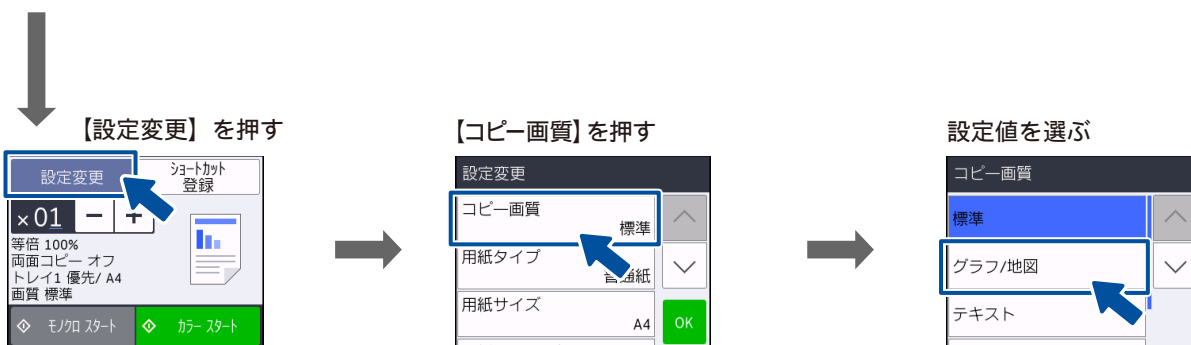
いろいろなコピー

設定を変えてコピーするには

待ち受け画面の【コピー】を押して、画面に表示される【設定変更】から、コピーの設定が変更できます。

例:コピー画質

待ち受け画面の【コピー】を押す



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。
【標準／グラフ／地図／テキスト／写真】

(2) 用紙タイプ

使用する用紙に合わせて、用紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

使用する用紙に合わせて、用紙サイズを設定します。
【A4／A3／B5／B4／A5／2L 判／L 判／ハガキ／A6】

(4) 用紙トレイ選択

コピー時に使用する用紙をセットしたトレイを設定します。
【用紙トレイ #1／多目的トレイ／トレイ自動選択】

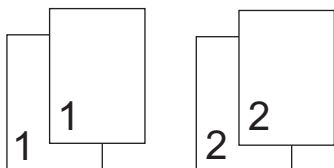
(5) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 【等倍 100%】 【拡大】 • 【240% L判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% A4 ⇒ A3、B5 ⇒ B4】 • 【123% A4 ⇒ B4、A5 ⇒ B5】 • 【115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4】 • 【113% L判 ⇒ ハガキ】 *1 【縮小】 • 【86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5】 • 【81% B4 ⇒ A4、B5 ⇒ A5】 • 【69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5、A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L判】 【用紙に合わせる】 *2 【カスタム (25-400%)】 *3	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 *1 L判縦向きの写真 (127mm × 89mm) をハガキにフィットさせます。  *2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】 は次のような制約があります。 • 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • スタック/ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。 *3 画面に表示されているテンキーで倍率を入力し、 【OK】 を押します。
(6) コピー濃度	
コピーの濃度を調整します。5段階の調整ができます。	
(7) スタック / ソート	
⇒ 48 ページ「スタック / ソートコピーする」	
(8) レイアウト コピー	
⇒ 49 ページ「レイアウトコピーする」	
(9) レイアウト選択	
⇒ 49 ページ「レイアウトコピーする」	
(10) 傾き補正	
⇒ 52 ページ「原稿の傾きを補正してコピーする」	
(11) 両面コピー	
⇒ 53 ページ「両面コピーする」	
(12) 便利なコピー設定	
その他のいろいろなコピーができます。 • 【インク節約モード】 ⇒ 54 ページ「インクを節約してコピーする」 • 【裏写り除去コピー】 ⇒ 55 ページ「コピー時の裏写りを抑える」 • 【ブックコピー】 ⇒ 55 ページ「ブックコピーする」 • 【透かしコピー】 ⇒ 56 ページ「コピーに文字を重ねる」 • 【地色除去コピー】 ⇒ 56 ページ「原稿の地色を除去してコピーする」	
(13) 設定を保持する	
設定を変更したあとで、 【設定を保持する】 を選びます。 【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】 と表示されるので、 【はい】 を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。	
(14) 設定をリセットする	
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

スタック / ソートコピーする

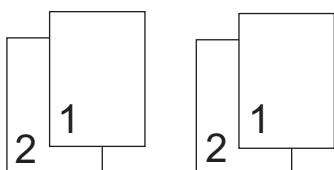
[スタック / ソートコピー]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

- スタックコピー



- ソートコピー



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼を押して画面を送ります。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿をセットして [次のページ開始] を押してください 次の原稿がない場合は [全てのページ完了] を押してください / 次のページ開始 / 全てのページ完了】と表示されます。

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【次のページ開始】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順⑨に進みます。

9 【全てのページ完了】を押す

レイアウトコピーする

【レイアウトコピー】

複数の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- 2in1（縦長）



- 2in1（横長）



- 2in1（IDカード）



- 4in1（縦長）



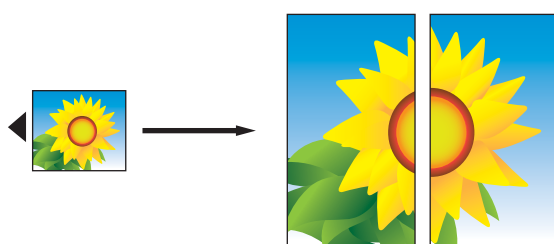
- 4in1（横長）



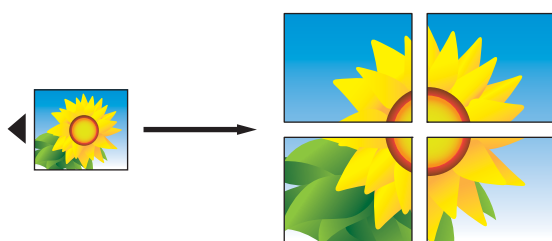
- 2枚に分割



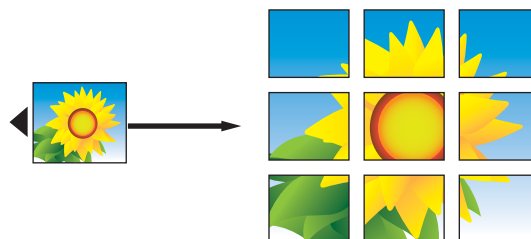
- ポスター（2x1）



- ポスター（2x2）



- ポスター（3x3）



2枚または4枚の原稿を1枚の用紙に並べてコピーする（N in 1 コピー）

2枚または4枚の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーします。

使用できる用紙は、A3、B4（JIS）、A4サイズです。

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

6 レイアウトの種類を選び、【OK】を押す

【2in1（縦長） / 2in1（横長） / 4in1（縦長） / 4in1（横長）】から選びます。

選択した用紙サイズによっては、【レイアウト選択】でレイアウトタイプを選ぶこともできます。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次の原稿をセットして [次のページ開始] を押してください 次の原稿がない場合は [全てのページ完了] を押してください / 次のページ開始 / 全てのページ完了】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- 次の原稿がない場合⇒【全てのページ完了】を押して、操作は終了です。コピーが開始されます。

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして【次のページ開始】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【全てのページ完了】を押す

カードの両面を1枚のA4用紙にコピーする（ID カードコピー）

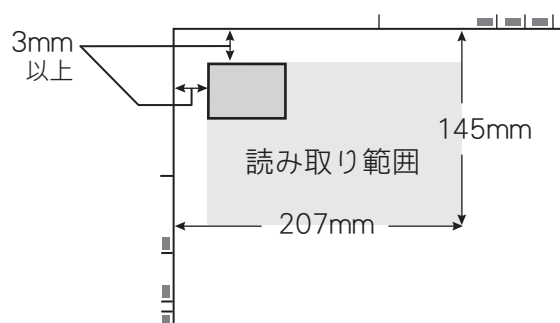
運転免許証のようなカードの両面を1枚のA4用紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。

使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に原稿をセットしてください。



2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

6 【2in1 (ID カード)】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると【ID カードを同じ位置に裏返して置き [次のページ開始] を押してください 終了する場合は [全てのページ完了] を押してください / 次のページ開始 / 全てのページ完了】と表示されます。

8 原稿を裏返してセットし、【次のページ開始】を押す

1 枚の原稿を 2 枚に分けてコピーする (分割コピー)

A3 サイズ 1 枚を、A4 サイズ 2 枚に分割してコピーします。なお、分割コピーは複数部数の指定はできません。

-  拡大 / 縮小されるわけではありません。
-  使用できる用紙は、A4 サイズのみです。

- 1** 用紙が 2 枚以上セットされていることを確認する
- 2** 原稿を原稿台ガラスにセットする
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」
- 3** 【コピー】を押す
- 4** 【設定変更】を押す
- 5** 【レイアウト コピー】を押す
- 6** 【2 枚に分割】を選び、【OK】を押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 7** 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

1 枚の原稿を複数枚の用紙に分けて拡大する (ポスターコピー)

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の用紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

-  使用できる用紙は、A3、B4 (JIS)、A4 サイズです。

- 1** 分割される枚数以上の用紙がセットされていることを確認する
- 2** 原稿を原稿台ガラスにセットする
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」
- 3** 【コピー】を押す
- 4** 【設定変更】を押す
- 5** 【レイアウト コピー】を押す
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
- 6** レイアウトの種類を選び、【OK】を押す
【ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)】から選びます。

選択した用紙サイズによっては、【レイアウト選択】でレイアウトタイプを選ぶこともできます。
- 7** 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す
すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

原稿の傾きを補正してコピーする

【傾き補正】

原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーするときに、原稿の傾きを自動的に補正します。

-  以下のような原稿をセットした場合は、傾き補正は機能しません。
- B8 (JIS) よりも小さい原稿や B4 (JIS) サイズより大きい原稿
 - 四角形ではない、不定形の原稿
 - 厚みのある原稿
-  読み込み時に原稿が 3° 以上傾いていた場合は、傾き補正は機能しません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【傾き補正】を押す

キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。

6 【自動】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

両面コピーする

【両面コピー】

原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面 1 枚にコピーできます。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

		印刷の向き：縦（たて長原稿）	印刷の向き：横（よこ長原稿）
片面⇒両面	長辺とじ		
	短辺とじ		
両面⇒両面			

- 両面コピーで使用する用紙は、A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5 サイズの普通紙のみです。
- 原稿が片面の場合は、ADF（自動原稿送り装置）にセットすることをお勧めします。原稿が両面の場合や、冊子、A6 サイズ以下の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

- 1 原稿をセットする**
⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」
- 2 【コピー】を押す**
- 3 【-】 / 【+】 で部数を入力する**
部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。
- 4 【設定変更】を押す**
- 5 【両面コピー】を押す**
キーが表示されていないときは、▲ / ▼ を押して画面を送ります。
- 6 【とじ方向】を押して、とじ方向を選ぶ**
【長辺とじ / 短辺とじ】から選びます。

- 7 原稿のとじ方を選ぶ**
【オフ / 片面⇒両面 / 両面⇒両面】から選びます。
- 8 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す**
- 9 【OK】を押す**

10 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。

両面にコピーする場合、原稿1枚目を印刷すると用紙はいったん排出されますが、2枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで用紙に触れないでください。3枚目以降も同様にそれぞれうら面の印刷が終了するまでは用紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると【次の原稿をセットして【次のページ開始】を押してください 次の原稿がない場合は【全てのページ完了】を押してください／次のページ開始／全てのページ完了】と表示されます。⇒手順 11 へ

11 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【次のページ開始】を押す

手順 8 で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 12 に進みます。

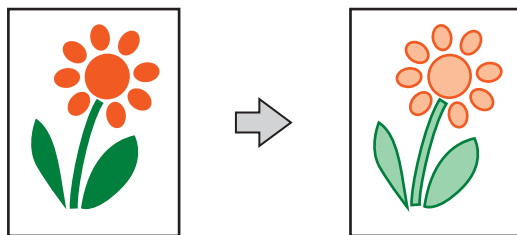
12 【全てのページ完了】を押す

紙詰まりや印刷汚れが起こる場合は、 を押し、【メンテナンス】>【印刷設定オプション】>【用紙汚れの低減】を順に押して、設定を変更してください。

インクを節約してコピーする

【インク節約モード】

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



 「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

 REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

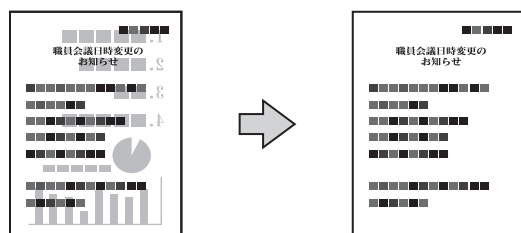
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピー時の裏写りを抑える

【裏写り除去コピー】

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

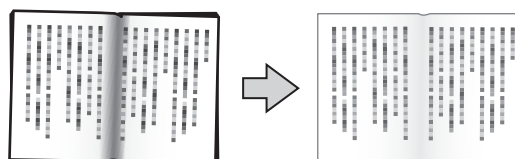
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ブックコピーする

【ブックコピー】

原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置）を使用してブックコピーはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

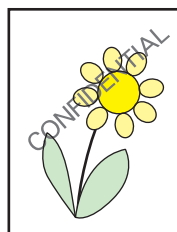
キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーに文字を重ねる

【透かしコピー】

コピーと同時に、設定した透かし文字をコピー画像に追加できます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：-45°
透過度：+2
色：黒

※ 右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 透かしの設定を行う

【テキスト／位置／サイズ／回転／透過度／色】の項目を設定します。それぞれの設定値を選び、【OK】を押します。

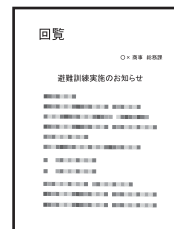
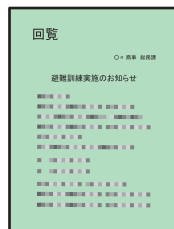
7 【OK】を押す

8 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の地色を除去してコピーする

【地色除去コピー】

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【コピー】を押す

3 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

6 設定を選ぶ

【弱／中／強】から選びます。

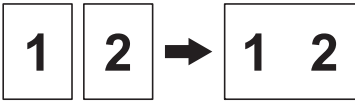
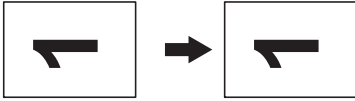
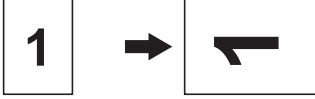
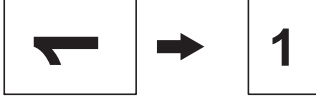
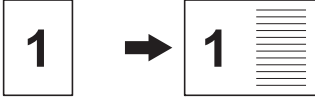
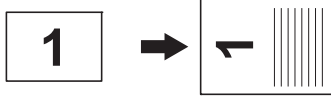
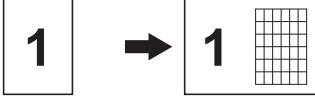
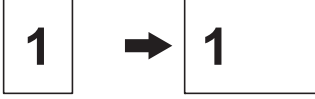
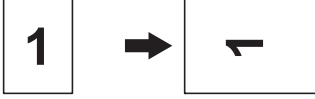
7 【OK】を押す

8 【カラー スタート】を押す

A3 用紙を使った便利なコピー

本製品には、A3 用紙を使ってコピーする場合、各種の設定が簡単にできるように、【便利な A3 コピー】というメニューが、待ち受け画面に用意されています。

A4 原稿と A3 用紙をセットしてメニューを選ぶだけの簡単操作で製品内蔵の罫線を自動的に配置するなど、実用的なメニューもあります。

メニュー	コピーイメージ
A3 2in1	
A3 等倍	
A4 ⇒ A3 拡大 (デフォルト)	
A3 ⇒ A4 縮小	
A4 + ノート (横)	
A4 + ノート (縦)	
A4 + 方眼	
A4 + メモ	
A4 センター	

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 ◀/▶を押して画面を送り、【便利な A3 コピー】を押す

便利な A3 コピーについての案内が表示されます。内容を確認して【OK】を押します。

3 便利な A3 コピーメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは、◀/▶を押して画面を送ります。

4 【-】 / 【+】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

5 【設定変更】を押して必要な設定を行い、【OK】を押す

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿台ガラスに原稿をセットして、【A3 2in1】メニューを選択した場合、1 枚目の原稿の読み取りが終わると【次の原稿をセットして【次のページ開始】を押してください 次の原稿がない場合は【全てのページ完了】を押してください/次のページ開始/全てのページ完了】と表示されます。⇒手順 7

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして【次のページ開始】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 8 に進みます。

8 【全てのページ完了】を押す

Memo

第 4 章

スキャン

スキャンしたデータをメディアに保存する	60
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保 存する	60
複数の原稿を一度にスキャンする	61

スキャンしたデータをメディアに保存する

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずに USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

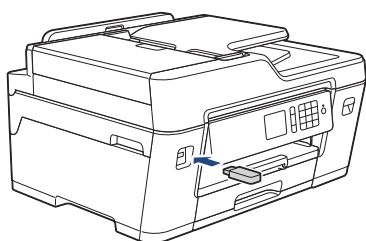
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

【スキャン：メディア】

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 USB フラッシュメモリーを差し込む



3 【スキャン：メディア】を押す

4 【設定変更】を押して、必要な設定を行い、【OK】を押す

設定項目	機能説明
カラー設定	カラーを設定します。
解像度	解像度を設定します。
ファイル形式	保存するファイル形式を設定します。
原稿サイズ	スキャンする原稿のサイズを設定します。
ADF 長尺原稿モード	ADF（自動原稿送り装置）を使って長尺原稿をスキャンする場合、オンにします。
ファイル名	保存するファイル名を設定します。
ファイル名項目順序	ファイル名の順番を、日付・カウンタ（連番）・任意の文字列から選んで設定します。
明るさ	明るさを設定します。
コントラスト	コントラスト（色の濃度）を設定します。

設定項目	機能説明
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。詳しくは、⇒61 ページ「複数の原稿を一度にスキャンする」
ADF 傾き補正	ADF（自動原稿送り装置）から原稿を読み取った場合に、原稿の傾きを自動的に補正します。
白紙除去	スキャンした原稿の中に白紙が混じっていた場合に、白紙を除いて保存します。
白紙除去レベル調整	白紙除去を行う場合の感度を設定します。感度を強くすると白紙を検出しやすくなります。
地色除去	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。
設定を保持する	変更した内容を初期値として登録できます。
設定をリセットする	お買い上げ時の設定に戻します。

5 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【USB メモリを抜かないでください 次のページをセットして【読み取り開始】を押してください 全てのページが終わったら【読み取り完了】を押してください】と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合：⇒手順 7 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合：⇒手順 6 へ

6 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【読み取り開始】を押す

USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ繰り返します。

7 すべての原稿をスキャンしたら、【読み取り完了】を押してスキャンを終了する

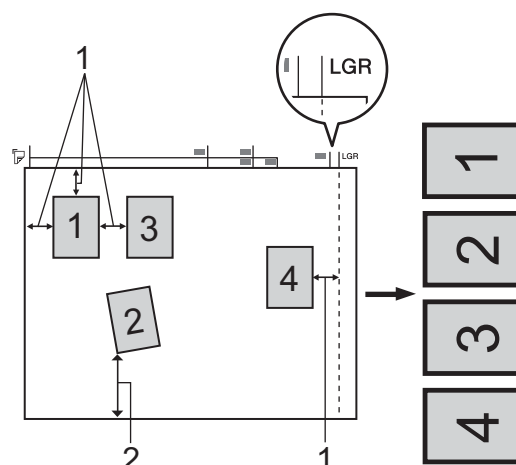
重要

- アクセス中は、USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データや USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

複数の原稿を一度にスキャンする

【おまかせ一括スキャン】

複数の原稿を一度にスキャンして、USB フラッシュメモリーに保存します。



1 10mm 以上
2 20mm 以上

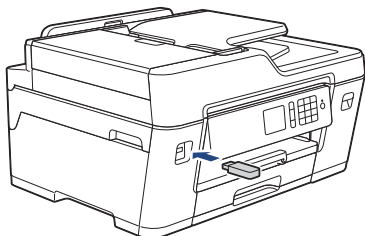
お願い

- ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

- ☞ すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- ☞ 原稿をセットするときは、下記の範囲を空けてセットしてください。
左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
右：レジャーサイズのガイド線から 10mm 以上
手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- ☞ 原稿の間隔は、10mm 以上空けてください。
- ☞ 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- ☞ 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- ☞ 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。
- ☞ 「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- 1 原稿台ガラスに原稿をセットする
- 2 USB フラッシュメモリーを差し込む



- 3 【スキャン：メディア】を押す
- 4 【設定変更】を押す
- 5 【おまかせ一括スキャン】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 6 【オン】を押す
- 7 【OK】を押す
- 8 【スタート】を押す

スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

- 9 【OK】を押す

スキャン結果が画面に表示されます。

◀/▶ で前後の画像を確認できます。

- 10 【全て保存】を押す

USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

第 5 章

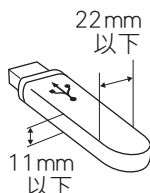
メディアプリント

写真を直接プリントする	64
使用できる USB フラッシュメモリー	64
設定を変えてプリントするには	64
インデックスシートをプリントする	66
インデックスシートの画像の番号を指定してプリントする	66

写真を直接プリントする

使用できる USB フラッシュメモリー

USB フラッシュメモリー（最大 256GB）



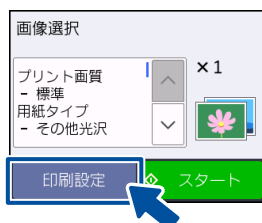
 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。

設定を変えてプリントするには

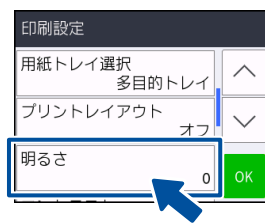
JPEG プリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。

例：明るさ

【印刷設定】を押す



▲ / ▼ を押して画面を送り、
【明るさ】を押す



設定値を選ぶ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
よりきれいにプリントする場合に選びます。

(2) 用紙タイプ

プリントする用紙の種類を選びます。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを選びます。

【L 判／2L 判／ハガキ／A4／A3】

(4) 用紙トレイ選択

プリント時に使用する用紙をセットしたトレイを設定します。

【用紙トレイ #1／多目的トレイ／トレイ自動選択】

(5) プリントレイアウト

1 枚の用紙に複数枚の画像を割り付けてプリントします。
用紙サイズによって選択できるレイアウトが異なります。

- 用紙サイズが【A4】【A3】の場合
【1x2 / 2x2 / 2x4 / 3x3 / 4x4】
- 用紙サイズが【2L 判】の場合
【1x2 / 2x2 / 2x4 / 3x3】
- 用紙サイズが【L 判】【ハガキ】の場合
【1x2 / 2x2】

(6) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。5 段階の調整ができます。

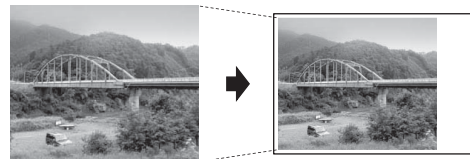
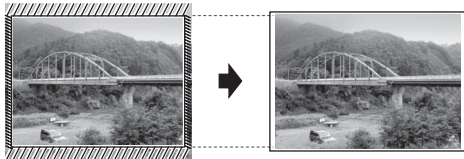
(7) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。5 段階の調整ができます。【+】はコントラストが強くなり、【-】はコントラストが弱くなります。

(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。
- 【しない】
画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

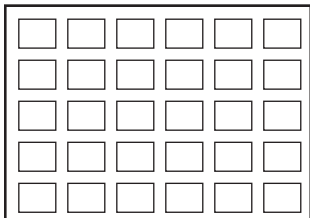
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

インデックスシートをプリントする

【インデックスシート】

USB フラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。

A4 サイズの用紙 1 ページ内に最大 30 個の画像がプリントされます。

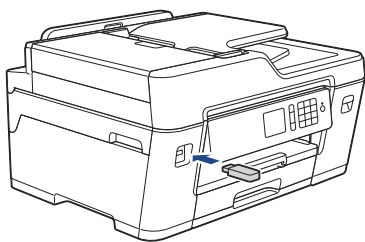


- ☞ インデックス番号が 1 から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
- ☞ インデックスシートをプリントする場合、用紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定値です。
- ☞ プリントされるのは JPEG（.JPG）形式の画像です。
- ☞ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 A4 サイズの用紙を用紙トレイ 1 にセットする

⇒ 13 ページ「用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする」

2 USB フラッシュメモリーをセットする



3 【JPEG プリント】、【インデックス】、【インデックスシート】を順に押す

4 必要に応じて【印刷設定】を押し、用紙のタイプを変更する

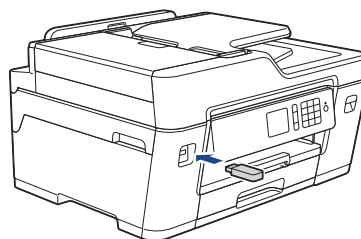
5 【スタート】を押す

インデックスシートの画像の番号を指定してプリントする

【番号指定プリント】

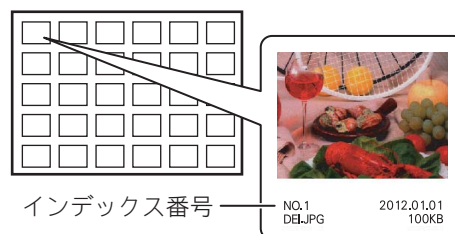
インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 USB フラッシュメモリーをセットする



2 【JPEG プリント】、【インデックス】、【番号指定プリント】を順に押す

3 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

- ☞ 区切り記号も含めて 62 文字まで入力できます。

4 【+】 / 【-】 で部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーやダイヤルボタンでも部数を入力できます。

**5 画面で設定を確認する****6 【スタート】を押す**

Memo

第 6 章

ファクス

送信

ファクスの便利な送りかた	70
設定を変えてファクスするには	70
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	72
相手先の受信音を確認してから送る	73
送るのをやめるときは	73
複数の相手先に同じ原稿を送る	74
送るのをやめるときは	75
内容を確認してから送る	76
時間を指定して送る	78
同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信にまとめる	79
原稿をすぐに送る	80
海外へ送る	81
ADF（自動原稿送り装置）から送る	81
原稿台ガラスから送る	81
パソコンからファクスを送る	83
自動再ダイヤルを解除する / 設定する	84
外線発信番号を設定する	85
ファクス誤送信防止機能を設定する（ダイヤル制限機能）	86
IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）	87

受信

ファクスの見かた	88
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する	88
みるだけ受信を設定する	88
新着ファクスを見る	88
既読のファクスを再度見る	89
必要なファクスのみを印刷する	89
すべてのファクスを印刷する	89
不要なファクスのみを消去する	90
すべてのファクスを消去する	90
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）	91
受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）	91
ファクスの便利な受けかた	92
電話に出ると自動的に受ける（親切受信）	92
親切受信を設定する	92
親切受信でファクスを受ける	92

自動的に縮小して受ける	93
受信日時を付けて印刷する	93
本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する	94
リモート受信を設定する	94
リモート受信の操作	94
ファクスをメモリーで受信する	95
ファクスをメモリーで受信する	95
メモリー受信したファクスを印刷する	95
ファクスを転送する	96
本製品で受信したファクスをパソコンに送る（Windows® のみ）	97
メモリー受信の設定を変更する	98
メモリー受信をやめる	98

通信管理

通信状態を確かめる	99
送信待ちファクスを確認・中止する	99
通信管理レポートを印刷する	100
通信記録をすぐに確認したいとき	100
出力間隔を変更する	100
送信結果レポートを印刷する	101
すぐに印刷する	101
印刷するタイミングと内容を設定する	101
着信履歴リストを印刷する	102

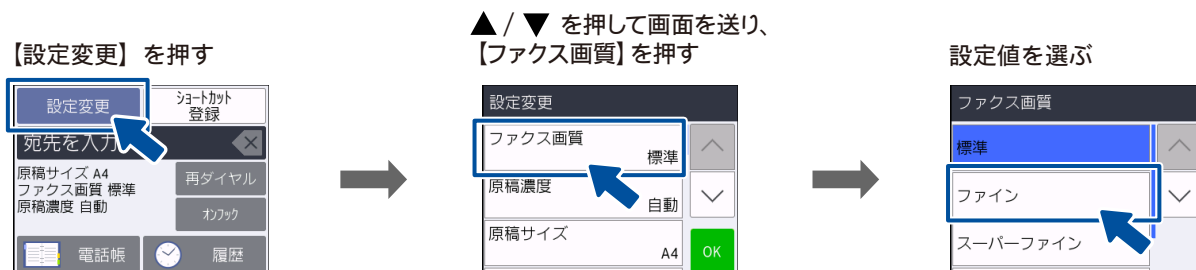
ファクスの便利な送りかた

送信

設定を変えてファクスするには

ファクス送信時、画面に表示されている【設定変更】から、ファクスを送るときの設定が変更できます。

例：ファクス画質



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。

※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。

※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなる場合があります。

※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) 原稿サイズ

ファクス送信するときの読み取りサイズを設定します。

【A4 / B4 / A3】

(4) 長尺原稿送信

長尺原稿を送信する方法を表示します。

長尺原稿は、ADF（自動原稿送り装置）にセットしてください。

(5) 同報送信

⇒ 74 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(6) みてから送信
⇒ 76 ページ「内容を確認してから送る」
(7) カラー設定
ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。
(8) タイマー送信
⇒ 78 ページ「時間を指定して送る」
(9) とりまとめ送信
⇒ 79 ページ「同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる」
(10) リアルタイム送信
⇒ 80 ページ「原稿をすぐに送る」
(11) 海外送信モード
⇒ 81 ページ「海外へ送る」
(12) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(13) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

 ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

3 【履歴】を押す

4 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

5 ファクスを送る相手先を選ぶ

相手先が表示されていないときは、▲/
▼を押して画面を送ります。

6 【送信先に設定】を押す

7 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます

原稿台ガラスに原稿をセットしたときに、モノクロで送信する場合は、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 ⑨ へ
 - 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 ⑧ へ
- カラーで複数枚送信したいときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑨ に進みます。

9 【いいえ】を押す

ファクスが送られます。

相手先の受信音を確認してから送る

【手動送信】

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

📎 「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。(1回に送ることができるのは1枚のみです。)

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【オンフック】を押したあと、相手先のファクス番号を入力する

4 相手の受信音（ピーヒョロヒョロ音）を確認して、【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。⇒手順⑤へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

1 【送信中】表示中に❌を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

ファクスの送信が中止されます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

【同報送信】

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、番号入力・電話帳・検索などの方法から、合わせて最大250箇所まで指定できます。

お願い

■ 同報送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

 同報送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【番号追加】を押す

6 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

7 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

7 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

 グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒107ページ「グループダイヤルを登録する」

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

【検索して選択】を選んだ場合

7 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押し、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順⑤へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順⑧へ

8 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先が削除されます。

9 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

10 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

11 【いいえ】を押す

すべての相手先に送り終わると、送信エラーがあるときのみ、「同報送信レポート」が印刷されます。

④ 送信結果レポートを印刷するタイミングを変更すると、エラーがなくても同報送信レポートを出力することができません。

⇒ 101 ページ「印刷するタイミングと内容を設定する」

④ 同報送信レポートを確認して、エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

1 ダイヤル中に❌を押す

【同報送信をキャンセルします 現在のあて先のみか 全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての同報送信】と表示されます。

2 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、❌を押します。

3 【はい】を押す

- すべての同報送信を中止した場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。
- 送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

4 続けて中止する場合は 1 ～ 3 を繰り返す

内容を確認してから送る

[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。

お願い

■ みてから送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

🔒 みてから送信と組み合わせることができないファクスの設定は、キーの色が灰色表示されます。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【みてから送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【オン】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、画面にこれから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順 11 へ

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 10 に進みます。

10 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

11 画面で、ファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
📄/📄	前のページ/次のページを表示します。
🔄	90° ずつ右回転します。
🔍/🔍	拡大/縮小表示します。
【スタート】	ファクス送信を開始します。

A) ファクスを送る場合

12 【スタート】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

B) ファクス送信を中止する場合

12 を押す

画面に、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

13 【はい】 を押す

送信が中止されます。

時間を指定して送る

【タイマー送信】

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。タイマー送信は、50 件まで登録できます。

お願い

- タイマー送信は、カラーでの送信はできません。カラーで送ると設定エラーになります。モノクロで送るように設定してください。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【タイマー送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 更に【タイマー送信】を押して、【オン】を押す

6 【指定時刻】を押す

7 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

8 【OK】を押す

9 ファクス番号を入力するか、【電話帳】または【履歴】から相手先を選ぶ

10 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 11 へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 12 に進みます。

12 【いいえ】を押して設定を終了する

同じ相手への「タイマー送信」を1回の通信にまとめる

【とりまとめ送信】

タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と予約時刻が同じものを、1回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

この設定は、いったん設定すると以降は、タイマー送信設定されたファクスの中から相手先番号と予約時刻が同じものを、本製品が自動的に検出し、まとめて送信するようになります。

1 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順①のあとで、【ファクス送信】を押してください。

2 【設定変更】を押す

3 【とりまとめ送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【オン】を押す

5 を押して設定を終了する

原稿をすぐに送る

【リアルタイム送信】

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。

メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。

-  リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。複数の相手先に1回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
-  ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
-  リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿のセット」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【リアルタイム送信】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【オン】を押す

- 【オン】：
リアルタイム送信で送ります。
- 【オフ】：
通常の送信で送ります。

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

海外へ送る

【海外送信モード】

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信モードを【オン】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは送信が終了すると自動的に【オフ】に戻ります。

ADF（自動原稿送り装置）から送る

綴じや切り貼りのないサイズが揃った原稿であれば ADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【オン】を押す

6 【OK】を押す

7 相手先のファクス番号を入力する

8 【スタート】を押す

ファクスが送られます。

原稿台ガラスから送る

綴じられた資料や本など、ADF（自動原稿送り装置）にセットできない原稿は、原稿台ガラスを使用してください。

④ 原稿が複数枚あるときはカラーで送ることができないため、モノクロで送信するか、複数回に分けて送信してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ユーザーズガイド 基本編「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みただけ受信をしている場合は、手順②のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 【設定変更】を押す

4 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【オン】を押す

モノクロで送る場合

6 【カラー設定】を押す

7 【モノクロ】を押す

④ お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順⑥、⑦のカラー設定を行う必要はありません。

④ 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒70 ページ「設定を変えてファクスするには」

8 【OK】 を押す

9 相手先のファクス番号を入力する

10 【スタート】 を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 **12** へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 **11** へ

11 【はい】 を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして 【OK】 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 **12** に進みます。

12 【いいえ】 を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合

6 【カラー設定】 を押す

7 【カラー】 を押す

8 【OK】 を押す

9 相手先のファクス番号を入力する

10 【スタート】 を押す

画面に【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されます。

11 【はい（カラー送信）】 を押す

【いいえ】 を押すと、原稿台ガラスからは送ることができません。

操作は終了です。ファクスが送られます。

パソコンからファクスを送る

【PC-FAX 送信】

パソコンで作成した書類を、印刷することなく、本製品を経由してそのままファクスとして送ることができます。

⇒詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークをご覧ください。

- 1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する
- 2 【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ
- 3 プリンターの選択で【Brother PC-FAX v.X】を選び【印刷】をクリックする



PC-FAX 送信画面が表示されます。

- 4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力する



- 5 【送信先追加】を押して、番号を確認する
- 6 【送信】をクリックする

ファクスが送信されます。

自動再ダイヤルを解除する / 設定する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、 【ファクス自動再ダイヤル】を順に 押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
相手が通信中でも、3回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信結果レポートが印刷されます。

4 を押して設定を終了する

外線発信番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号をあらかじめ登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。

お願い

■ 電話回線をご利用の環境が、外線番号を必要としない場合は登録しないでください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、 【外線番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オン】を押す

- 【オン】：
ダイヤル時、外線番号を常に頭に付けて発信します。
- 【オフ】：
外線番号機能を利用しません。

4 【外線番号】を押す

5 画面に表示されているテンキーで外線（識別）番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】、【!】を使って最大5桁まで登録できます。

- 【!】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【*】、【#】が登録できません。

6 を押して設定を終了する

ファクス誤送信防止機能を設定する（ダイヤル制限機能）

ファクス送信を禁止したり、間違った相手にファクスを送信しないようファクス番号の2度入力でダイヤルした番号の確認を強制したりできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ダイヤル制限機能】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 制限したい発信動作を選ぶ

- 【直接入力】：
ダイヤルボタンから直接ダイヤルして送信する場合です。
- 【電話帳】：
本製品の電話帳に登録した番号を選んで送信する場合です。
- 【ショートカット】：
登録したショートカットから送信する場合です。

4 制限内容を選ぶ

- 【オフ】：
制限せず通常のファクス送信を行います。
- 【2度入力】：
ファクス番号の再入力が求められ、1度目に入力した番号と一致した場合のみ、ファクス送信されます。1度目とは異なった番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
ファクス送信を禁止します。

5 必要に応じて、手順③、④を繰り返し、制限したい発信動作についてすべて設定する

6 を押して設定を終了する

IP ファクスの設定をする（データコネクト設定）

データコネクトとは、NTT のフレッツ 光ネクストのご契約をされている場合に利用できるサービスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合に設定します。（モノクロファクスのみ）

-  データコネクトとは、お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュリティ性が高く安定した帯域確保型データ通信を実現する NTT のフレッツ 光ネクストのサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。
-  「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT 東日本 /NTT 西日本のサービスです。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【データコネクト設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【IP ファクス】を押す

4 送信動作を選ぶ

- 【専用】：
ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 【優先】：
相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 【オフ】：
通常のファクス送信のみとなります。

5 【送信速度】を押す

6 光ネクストのご契約内容に合わせて通信速度を選ぶ

- 【自動】：
本製品が回線にアクセスして判断します。
- 【標準】：64kbps
- 【高速】：512kbps
- 【最高速】：1000kbps

7 を押して設定を終了する

ファクスの見かた

受信

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） / 印刷する

【みるだけ受信】

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。

受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【オン（画面で確認）】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【オフ（受信したら印刷）】に設定してください。お買い上げ時は、【オフ（受信したら印刷）】に設定されています。

お願い

- みるだけ受信と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。
- みるだけ受信を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。画面で確認できない場合は、印刷されていないかどうかを確認してください。

みるだけ受信を設定する

1 を押す

2 【みるだけ受信】(1) を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。



3 【オン（画面で確認）】を押す

【受信したファクスはメモリーに保存され画面で確認できます 印刷はされませんがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

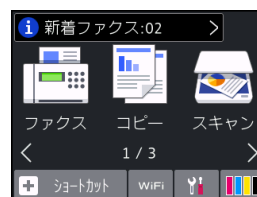
4 メッセージを確認して、【はい】を押す

5 を押して設定を終了する

新着ファクスを見る

みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示されます。

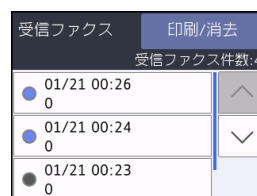
1 を押す



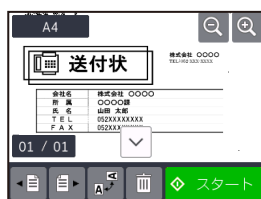
2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。



3 下表を参考にして操作を行う



ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向に画面を送ります。
◀/▶	横方向に画面を送ります。
◀/▶	前のページ/次のページを表示します。
90°	90° ずつ右回転します。
+	拡大 / 縮小表示します。
✖	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 90 ページ「不要なファクスのみを消去する」
【スタート】	ファクスを印刷します。 ⇒ 89 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見る

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【受信ファクス】を押す
- 3 確認したいファクスを選ぶ
目的のファクスが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。
既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。
- 4 新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する

必要なファクスのみを印刷する

- 1 印刷したいファクスが画面に表示された状態で【スタート】を押す
 - 見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。③に進んでください。
 - 見ているファクスが複数ページあるときは、②に進んでください。
- 2 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する
 - すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、③に進みます。
 - 見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、④に進みます。
 - 見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、④に進みます。
- 3 ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

- 4 家を押して操作を終了する

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【受信ファクス】を押す
受信ファクスの一覧が表示されます。
- 3 【印刷 / 消去】を押す
- 4 【全て印刷（新着ファクス）】または【全て印刷（既読ファクス）】を押す
【全て印刷（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。
- 5 家を押して操作を終了する

不要なファクスのみを消去する

- 1 消去したいファクスが画面に表示された状態で、を押す

【全てのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 【はい】を押す

ファクスのデータが消去されます。

- 3 を押して操作を終了する

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

- 1 【ファクス】を押す

- 2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

- 3 【印刷 / 消去】を押す

- 4 【全て消去（新着ファクス）】または【全て消去（既読ファクス）】を押す

【全て消去（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 5 【はい】を押す

- 6 を押して操作を終了する

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

【みるだけ受信】

【みるだけ受信】を【オフ（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

お願い

- みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 89 ページ「必要なファクスのみを印刷する」
⇒ 89 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- ファクスを印刷するときに使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。用紙トレイの設定を行ってください。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」

1 を押す

2 【みるだけ受信】(1) を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。



3 【オフ（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をオフにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。⇒手順 7 へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
⇒手順 6 へ

【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。ここで操作は終了です。⇒手順 7 へ

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

7 を押して操作を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【オフ（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 用紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 用紙が詰まったとき
- 間違ったサイズ of 用紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※メモリー代行受信枚数：約 400 枚

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

【親切受信】

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

- 1 を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 【オン】を押す
- 4 を押して設定を終了する

親切受信でファクスを受ける

- 1 着信音が鳴ったら、電話に出る
ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。
- 2 そのまま 7 秒待つ
約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。
- 3 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

お願い

- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【オフ】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【オフ】にすることをお勧めします。

-  ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。
-  本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しない場合があります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」
-  親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「電話に出てから受ける」

自動的に縮小して受ける

【自動縮小】

用紙トレイにセットしてある用紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信します。

- ④ 自動縮小を【オン】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の用紙に分割して印刷されます。
- ④ 【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイにセットしてある用紙の長さに対して有効です。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

3 【オン】または【オフ】を押す

- 【オン】：
自動縮小受信します。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【オフ】：
自動縮小受信しません。用紙トレイにセットしてある用紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

受信日時を付けて印刷する

【受信スタンプ】

ファクスを印刷するときに、受信した日時を用紙の一番上に印刷することができます。

- ④ カラーファクスを受信した場合は、受信した日時は印刷されません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【受信スタンプ】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

3 【オン】を押す

4 を押す

本製品と接続している電話機の操作でファクスを受信する

[リモート受信]

親切受信の設定が【オフ】の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本製品と接続している電話機から本製品を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を【オン】にします。また、リモート起動番号を変更することもできます。

- 1 を押す
- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【リモート受信】、【リモート受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

- 3 【オン】を押す

リモート起動番号が表示されます。

-  リモート起動番号とは、本製品の外付け電話接続端子に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用する番号です。
-  リモート起動番号を変更するときは、【起動番号】を押して、1桁目は「#」のままで、下2桁の数字部分を変更してください。3桁すべてを数字に変更すると、本製品と接続している電話機から特定の相手に電話がかけられなくなります。

- 4 を押して設定を終了する

リモート受信の操作

- 1 着信音が鳴ったら本製品と接続している電話機の受話器をとる
- 2 本製品と接続している電話機の受話器を持ったまま、「#」「5」「1」を押す
「#51」は、リモート起動番号です。
- 3 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

ファクスの受信が始まります。

お願い

- ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン（プッシュ）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

ファクスをメモリーで受信する

[PC ファクス受信/メモリー受信]

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを本製品のメモリーに保存したり別のファクスやパソコンなどに転送することができます。

メモリー受信には次の設定があり、1つのみ選ぶことができます。2つ以上の項目は同時に設定できません。

- ファクス転送⇒96ページ「ファクスを転送する」
- 電話呼び出し⇒113ページ「ファクスが届いたことを電話で知らせる」
- メモリ保持のみ⇒95ページ「ファクスをメモリーで受信する」
- PCファクス受信⇒97ページ「本製品で受信したファクスをパソコンに送る（Windows®のみ）」
- ファクスクラウド転送
⇒詳しくは、「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。
- オフ⇒98ページ「メモリー受信をやめる」

ファクスをメモリーで受信する

受信したファクスデータを本製品のメモリーに保存するとともに、自動的に印刷されます。

 【メモリー保持のみ】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

 保存されたファクスデータは画面で確認できません。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1  を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【メモリー保持のみ】を押す

4  を押して設定を終了する

 メモリー受信は最大400枚まで受信できます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリー受信したファクスを印刷する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1  を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ファクス出力】を順に押す

3 【はい】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

ファクスを転送する

受信したファクスを別のファクス機に転送することができます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

-  【ファクス転送】の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
-  【ファクス転送】を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
-  「みるだけ受信」と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品に受信ファクスデータは残らず、転送先に送信されます。
【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【ファクス転送】を押す

4 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、【OK】を押す

-  すでに転送先のファクス番号が登録されているときは、登録済みのファクス番号が表示されます。

転送先を変更する場合は  を押して登録済みの番号を消去してから、入力し直します。

- みるだけ受信を【オン（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 6 へ
- みるだけ受信を【オフ（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

5 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

6 を押して設定を終了する

本製品で受信したファクスをパソコンに送る（Windows®のみ）

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

 カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。

1 パソコンの「PC-FAX 受信」を起動する

起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

2 本製品の を押す

3 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

4 【オン】を押す

5 メッセージを確認して、【OK】を押す

6 手順①でPC-FAX 受信を起動したパソコンを、本製品の画面から選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

- みるだけ受信を【オン（画面で確認）】に設定している場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順⑧へ
- みるだけ受信を【オフ（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順⑦へ

7 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 を押して設定を終了する

-  手順⑦で【本体でも印刷する】を設定しておく、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

メモリー受信の設定を変更する

メモリー受信の設定を変更する場合、印刷や転送状況に応じて、異なるメッセージが表示されます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【PC ファクス受信】を押す または【メモリー受信】を押して、変更する設定を選ぶ

【メモリー受信】を押した場合は、【オフ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリー保持のみ／ファクス クラウド転送】から選びます。

受信ファクスの印刷や転送状況により、メッセージが表示されることがあります。

(A) 受信したファクスがすべて印刷されている場合

【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリーからすべてのファクスメッセージが消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(B) メモリー内に印刷されていないファクスがある場合

【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押すと、メモリー内のすべてのファクスメッセージが印刷後消去され、メモリー受信の設定が変更されます。
- 【いいえ】を押すと、設定は変更されません。

(C) 未転送のファクスがある場合

メモリー受信の設定を【PC ファクス受信】に変更した場合に、未転送のファクスがあるときは、【< USB >】またはネットワークに接続されているパソコン名を選び、【OK】を押します。

メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 【はい】を押した場合、メモリーに保存されたファクスは、選択したパソコンに転送されます。
- 【いいえ】を押した場合、設定は変更されません。

4 を押して設定を終了する

メモリー受信をやめる

いったん設定したメモリー受信をやめ、通常のファクス受信方法に戻す場合は、次の手順で行います。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【PC ファクス受信】または【メモリー受信】を押す

4 【オフ】を押す

みるだけ受信の設定により、以下のメッセージが表示されることがあります。

- 【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去（または印刷後消去）され、メモリー受信の設定が解除されます。

6 を押して設定を終了する

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・中止する

【通信待ち一覧】

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。

- 確認のみで終了するとき⇒を押して待ち受け画面に戻ります。
- 送信をやめたいとき⇒手順 3 へ

3 送信をやめるファクスを選び、【停止】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

送信が中止されます。

5 を押して設定を終了する

通信管理レポートを印刷する

【通信管理レポート】

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。通信管理レポートは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズの用紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」
-  通信管理レポートアプリ (Windows® 7、Windows® 8、Windows® 10 対応) を使うとパソコンから通信管理レポートを確認・印刷できます。通信管理レポートアプリはサポートサイト (ブラザーソリューションセンター) からダウンロードできます。

通信記録をすぐに確認したいとき

定期的に印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

- 1 用紙をトレイにセットする**
⇒ 13 ページ「用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする」
⇒ 22 ページ「多目的トレイにセットする」

- 2  を押す**

- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

- 4 【はい】を押す**

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

- 5 印刷が終了したら、 を押す**

出力間隔を変更する

- 1  を押す**

- 2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【通信管理レポート】、【通信管理レポート】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

- 3 印刷間隔を選ぶ**

【レポート出力しない / 50 件ごと / 6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと / 7 日ごと】から選びます。

A) 【レポート出力しない / 50 件ごと】を選んだ場合

- (1)  を押して設定を終了する

B) 【6 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 2 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2)  を押して設定を終了する

C) 【7 日ごと】を選んだ場合

- (1) 【印刷時刻指定】を押して、時間を 24 時間制で入力し、【OK】を押す
- (2) 【曜日指定】を押して、曜日を選ぶ
- (3)  を押して設定を終了する

-  通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

【送信結果レポート】

送信結果を印刷します。送信結果レポートは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズ of 用紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」

すぐに印刷する

- 1 **用紙をトレイにセットする**
⇒ 13 ページ「用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする」
⇒ 22 ページ「多目的トレイにセットする」
- 2  を押す
- 3 **【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す**
キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。
- 4 **【はい】を押す**
- 5 **印刷が終了したら、 を押す**

印刷するタイミングと内容を設定する

- 1  を押す
- 2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す**
キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。
- 3 **設定を選ぶ**
 - 【送信毎に印刷 (+ 画像)】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートと送信したファクスの1ページ目の画像を印刷します。
 - 【送信毎に印刷】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
 - 【エラー時のみ (+ 画像)】：
送信エラーがあるときに送信結果レポートと送信したファクスの1ページ目の画像を印刷します。
 - 【エラー時のみ】：
送信エラーがあるときに送信結果レポートを印刷します。
 - 【印刷しない】：
ファクス送信後および送信エラーがあるとき、いずれの場合も送信結果レポートを印刷しません。

 カラーで送信した場合や【リアルタイム送信】した場合には、送信結果レポートに画像は印刷されません。

- 4  を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

【着信履歴リスト】

着信履歴を印刷します。着信履歴リストは、モノクロで印刷されます。

-  A4 より小さなサイズ of 用紙は使用できません。
-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」

1 用紙をトレイにセットする

- ⇒ 13 ページ「用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする」
- ⇒ 22 ページ「多目的トレイにセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

4 【はい】を押す

5 印刷が終了したら、 を押す

第 7 章

電話帳

電話帳を利用する	104
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	104
発信履歴や着信履歴を削除する	105
電話帳の内容を変更する	106
電話帳の内容を削除する	106
こんなときは～電話番号に登録するとき～	106
グループダイヤルに登録する	107
グループダイヤルに登録されている相手先を変更する	108
グループダイヤルを削除する	108
パソコンを使って電話帳に登録する	108

電話帳を利用する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

【履歴】

画面に表示される発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。

- ☎ ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- ☎ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。
- ☎ 履歴は最新の 30 件が記録されています。

1 【ファクス】を押す

2 【履歴】を押す

3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

4 電話帳に登録したい番号を選ぶ

登録したい番号が表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

5 【設定】を押す

6 【電話帳に登録】を押す

7 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

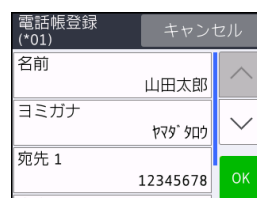


名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 128 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

8 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 9 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 10 へ

9 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す

10 【宛先 1】に番号が入力されていることを確認する

変更したい場合は、【宛先 1】を押し、番号を変更して【OK】を押します。
必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。【宛先 2】を押して番号を入力し、【OK】を押します。

11 【OK】を押す

12 🏠を押して登録を終了する

発信履歴や着信履歴を削除する

- ① 【ファクス】を押す
 - ② 【履歴】を押す
 - ③ 【発信履歴】または【着信履歴】を押す
 - ④ 削除する相手先を選ぶ
 - ⑤ 【設定】を押す
 - ⑥ 【消去】を押す
- 【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- ⑦ 【はい】を押す
- 選んだ番号が消去されます。
- ⑧ を押して操作を終了する

電話帳の内容を変更する

[電話帳]

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【電話帳】、【登録 / 編集】、【変更】を順に押す
- 3 変更したい相手先を選ぶ
- 4 変更したい項目を選ぶ
- 5 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
- 6 複数の項目を変更する場合は、手順④、⑤を繰り返す
- 7 【OK】を押す
- 8 を押して操作を終了する

変更した内容が反映されます。

電話帳の内容を削除する

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【電話帳】、【登録 / 編集】、【消去】を順に押す
- 3 消去したい相手先を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
- 4 を押して操作を終了する

選んだ番号が削除されます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A) 「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。

例)

○ 186 XXX XXX XXXX

(市外局番) (市内局番) (相手先番号)

× 186 XXX XXXX

(市内局番) (相手先番号)

(B) 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合

“0” のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合

010+ 国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合

(国際電話サービス会社指定の番号) +010+ 国番号 + ポーズ + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」と表示されます。

グループダイヤルを登録する

【グループ登録】

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。このグループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 74 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するとき 사용합니다。グループは、6 つまで登録できます。グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。

- 1 【ファクス】を押す
- 2 【電話帳】、【登録 / 編集】、【グループ登録】を順に押す
- 3 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力し、【OK】を押す

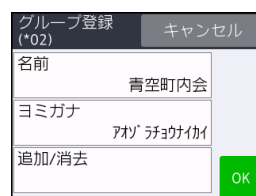


名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 128 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

- 4 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する

読みがなは、電話帳検索に使われます。



- 読みがなを編集する場合⇒手順 5 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 6 へ

- 5 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す
- 6 【追加／消去】を押して、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける
- 7 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す
- 8 登録内容を確認し、【OK】を押す
- 9  を押して登録を終了する

グループダイヤルに登録されている相手先を変更する

- 1 **【ファクス】を押す**
- 2 **【電話帳】、【登録 / 編集】、【変更】を順に押す**
- 3 **登録内容を変更したいグループを選ぶ**

目的の名前が表示されていないときは、▲ / ▼を押して画面を送ります。

- 4 **【追加 / 消去】を押す**
- 5 **追加または削除する相手先を選び、【OK】を押す**

追加したい相手を押してチェックマークを付けます。

グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。

- 6 **変更内容を確認し、【OK】を押す**

変更内容が反映されます。

- 7 **を押して操作を終了する**

グループダイヤルを削除する

- 1 **【ファクス】を押す**
- 2 **【電話帳】、【登録 / 編集】、【消去】を順に押す**
- 3 **削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す**
- 4 **を押して操作を終了する**

パソコンを使って電話帳に登録する

【リモートセットアップ】

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて便利です。

「リモートセットアップ」の使用方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク

第 8 章

転送・リモコン機能

外出先から本製品を操作する	110
暗証番号を設定する	110
暗証番号をリセットする	110
外出先から本製品を操作する	111
外出先からの操作	111
リモコンコード	112
外出先に転送する	113
ファクスが届いたことを電話で知らせる	113
電話呼び出しをやめる	113

外出先から本製品を操作する

外出先から本製品を操作できます。
電話回線のトーン信号を使って「リモコンコード」を入力し、本製品を操作します。

暗証番号を設定する

【暗証番号】

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字または記号と*）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

- 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

[0] ～ [9]、[*]、[#] で、頭の3桁を設定します。4桁目は強制的に「*」が付きます。
暗証番号「123 *」の場合は、【1】、【2】、【3】と押し、【OK】を押します。

 暗証番号の4桁目の「*」は変更できません。

 いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 ③ で、以前の番号に上書きします。

4 を押して設定を終了する

暗証番号をリセットする

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 を長押しする

数字がすべて消えていることを確認してください。

4 【OK】を押す

暗証番号が設定されていないお買い上げ時の状態に戻ります。

5 を押して操作を終了する

外出先から本製品を操作する

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 110 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

-  電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
-  携帯端末の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

外出先からの操作

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。

1 外出先から本製品に電話する

プッシュ回線に接続されている電話機やファクス機、またはトーン信号が送出できる電話機やファクス機からダイヤルします。

2 本製品が応答し、無音状態になったら、暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 無音：
ファクスメッセージが記憶されていません。
その後、「ピピッ」と鳴ったら、手順 ③に進みます。

3 リモコンコードを入力する

⇒ 112 ページ「リモコンコード」

例) 外付け留守電モードに変更する場合は「9」「8」「1」を押します。

4 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。
正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

《第 8 章 転送・リモコン機能》

リモコンコード

コード	操作内容	
設定		
951	【メモリ受信】を【オフ】にする。(電話呼び出しやファクス転送の設定も解除されます。) ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する。(転送先のファクス番号が登録されていないときは設定できません。)	
954	ファクス転送先を設定する。	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に【ファクス転送】になります。
956	【メモリ受信】を有効にする。(【メモリ保持のみ】となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になります。)	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す。	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く。
971	ファクスが記憶されているかを確認する。	記憶されているとき：「ピー」という音がする。 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする。
受信モード変更		
981	外付け留守電モードにする。	
982	自動切換えモードにする。	
983	ファクス専用モードにする。	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する。	

-  外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】または【電話呼び出し】にするか、【見るだけ受信】を設定する必要があります。
⇒ 88 ページ「みるだけ受信を設定する」
⇒ 95 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
-  リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。
⇒ ユーザーズガイド 基本編「受信モード / 着信回数の設定」
- ファクス専用モードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるとき、またはファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。
 - 自動切換えモードの場合
応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
 - 外付け留守電モードの場合
本製品と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。
- ※本製品と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 ～ 5 秒無音状態を入れておいてください。

外出先に転送する

ファクスが届いたことを電話で知らせる

【電話呼び出し】

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクス機からリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒ 111 ページ「外出先からの操作」

- ☞ 電話呼び出し先として設定した電話が通話中の場合は、呼び出しされません。
- ☞ 通信管理レポートや発信履歴に呼び出しの履歴は残りません。
- ☞ 呼び出し先の電話番号は、外出先から変更できません。
- ☞ 【電話呼び出し】を設定しても、本製品がカラーファクスを受信すると、呼び出し動作を行いません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【電話呼び出し】を押す

☞ すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。

電話番号を変更する場合は  を押していったん消去し、入力し直します。
⇒ 手順 4 へ
変更しない場合は【OK】を押します。
⇒ 手順 5 へ

4 画面に表示されているテンキーで呼び出し先の電話番号を入力し、【OK】を押す

5 を押して設定を終了する

電話呼び出しをやめる

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

☞ ファクスデータがメモリーに残ったままで【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。【はい】を押して、⇒ 手順 4 へ

4 を押して設定を終了する

電話呼び出しが解除されます。

Memo

第9章

こんなときは

本章は、日常のお手入れについて説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、⇒ 130 ページ「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	116
タッチパネルを清掃する	116
本製品の外側を清掃する	116
本体内部を清掃する	117
排紙ローラーを清掃する	118
インクがなくなったときは	120
インクカートリッジを交換する	120
インクカートリッジを捨てるときは	121
インク残量を確認する	122
インクカートリッジの型番を確認する	122
印刷品質が良くないときは	123
定期メンテナンスについて	123
プリントヘッドをクリーニングする	123
用紙送り量を補正する	123
印刷設定オプションを変更する	124

困ったときは

こんなときは	125
本製品の設定内容や機能を確認する	125

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

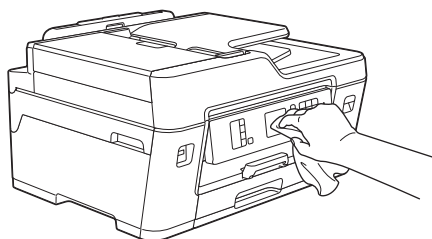
重要

- 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

- タッチパネルを清掃するときは、誤作動を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

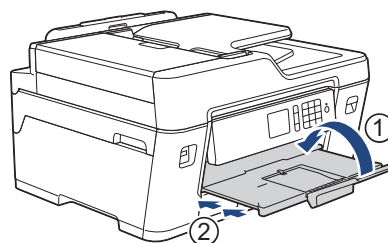


本製品の外側を清掃する

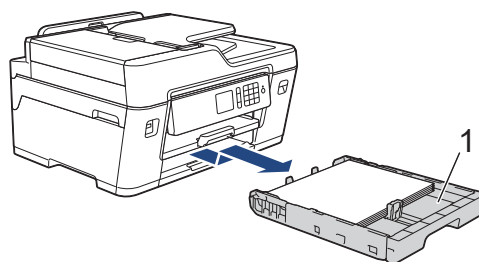
警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になるおそれがあります。

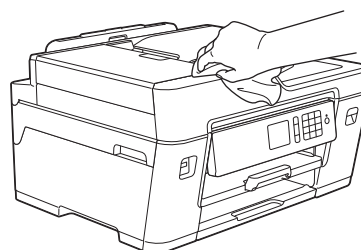
- 1 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



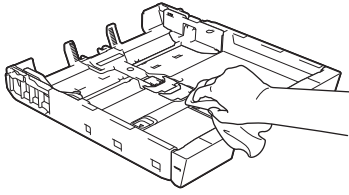
- 2 用紙トレイ 1 (1) を矢印のように引き出す



- 3 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く



- 4** 用紙トレイから用紙を取り除き、用紙トレイの内側、外側を軽く拭く



- 5** 用紙トレイ 1 を元に戻す

用紙トレイをゆっくりと確実に本体に戻します。

 トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。

本体内部を清掃する

用紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で用紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

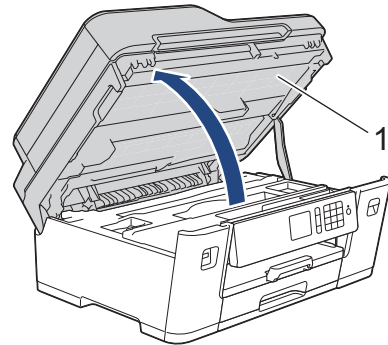
警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

- 1** 電源プラグをコンセントから抜く

- 2** 両手で本体カバー（1）を開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

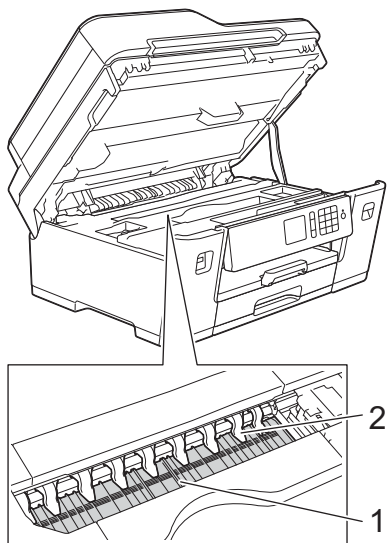


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン (1) を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でいねいに拭き取ってください。

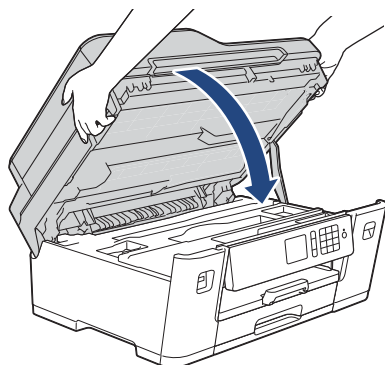
重要

■ ツメ (2) (9箇所) を触らないでください。本製品が損傷する恐れがあります。



4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、用紙が排出されなかったり、自動両面印刷ができなくなったりします。

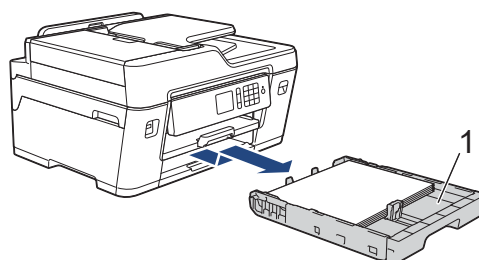
 排紙ローラーを拭いたあとは、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

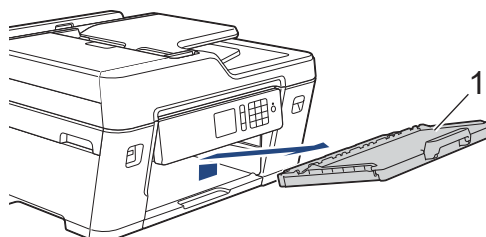
2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 用紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて、格納する

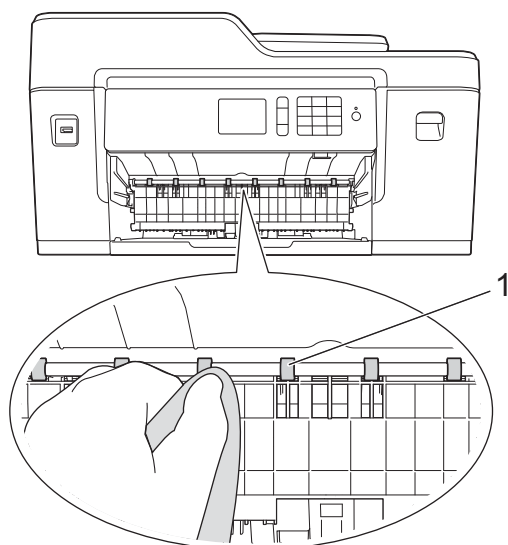
4 用紙トレイ 1 (1) を矢印のように引き出す



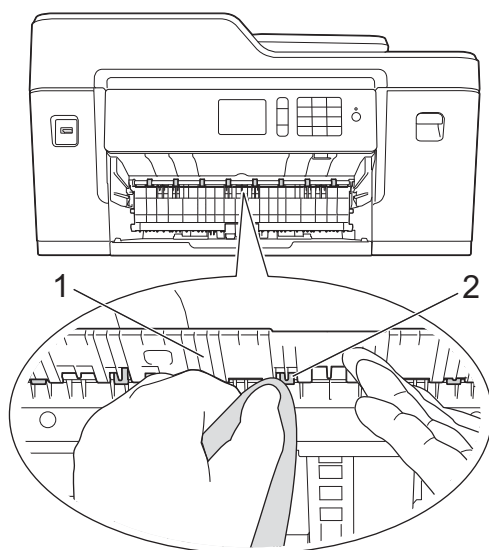
5 排紙トレイ (1) を矢印のように取り外す



6 排紙ローラー (1) を拭く

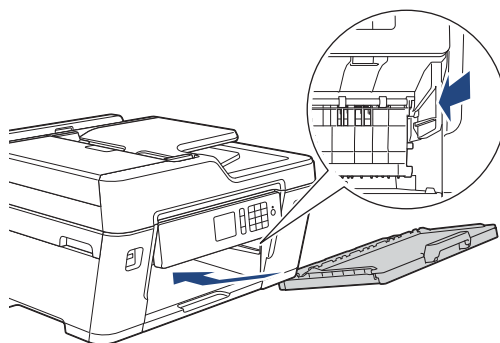


**7 フラップ (1) を手前に持ち上げて
排紙ローラー (2) の裏側を拭く**



8 排紙トレイを元に戻す

排紙トレイが、本体の溝に入っていることを確認してください。



**9 用紙トレイ1をゆっくりと確実に本
体に戻す**

10 電源プラグをコンセントに差し込む

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【インク交換】

● 【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を [普通紙]、カラーを [モノクロ] に設定する必要があります。
- コピー、ファクスの場合は、用紙タイプが【普通紙】に設定されている必要があります。

● 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

インクカートリッジを交換する

画面に【インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

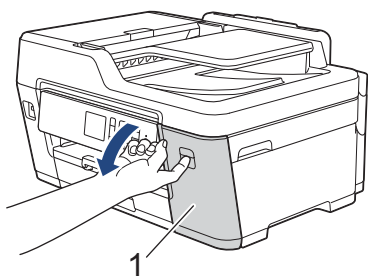
！ 注意

- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石鹸で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

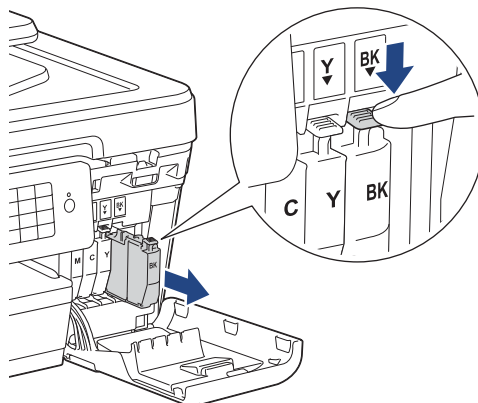
重要

- インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

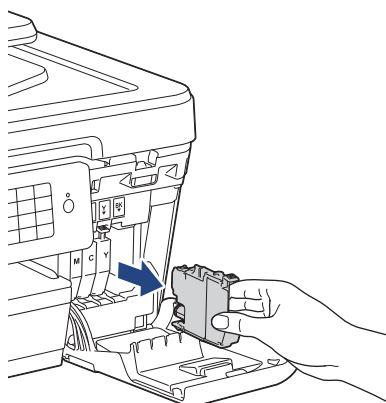
1 インクカバー (1) を開く



2 なくなった色のリリースレバーを押し下げる



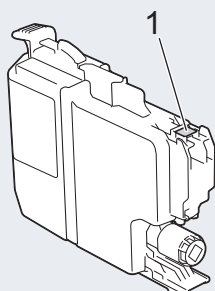
3 インクカートリッジを取り出す



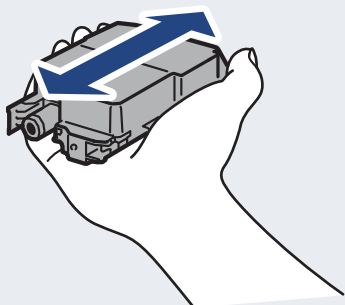
4 新しいインクカートリッジを準備する

重要

- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

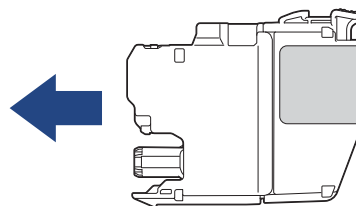


- ブラックのインクカートリッジのみ、挿入する前に、図のように水平方向にすばやく15回振ってください。

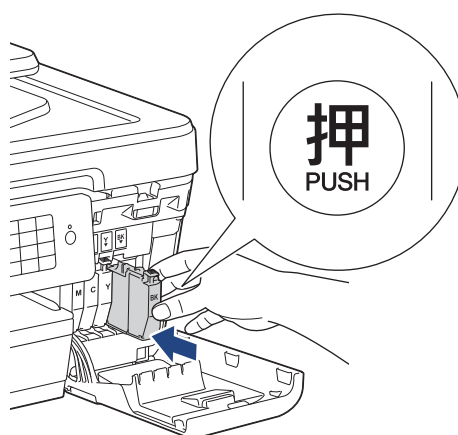


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



インクカートリッジが止まるまで、「押」の部分を押込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／(交換したインク色)／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。)

また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。

⇒ユーザーズガイド 基本編「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

【インク残量】

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

 インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

 (インク残量が少ない)

 (インクカートリッジが空)

 (インクカートリッジに問題がある)

3 を押して確認を終了する

インクカートリッジの型番を確認する

【インクカートリッジ型番】

以下の手順でインクカートリッジの型番を確認することができます。

1 を押す

2 【インクカートリッジ型番】を押す

インクカートリッジの型番が表示されます。

3 画面に従って操作する

- 【印刷】：
型番一覧が印刷されます。
- 【戻る】：
ひとつ前の画面に戻ります。

4 を押して確認を終了する

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、状況に応じて以下の操作を行ってください。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

【ヘッドクリーニング】

印刷品質が良くないと感じたら、自動クリーニングを待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合は、コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

 ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 を押す

2 【ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決】を押す

3 クリーニングする色を選ぶ

【ブラックのみ／カラーのみ／全色】から選びます。

4 クリーニングの強さを選ぶ

- 【普通】：
かすれ、スジが少しある場合。
- 【強力】：
かすれ、スジがひどい場合。
- 【超強力】：
殆どインクが出ない場合。

5 【スタート】を押す

ヘッドクリーニングが開始されます。クリーニング終了後にノズルの詰まりをチェックするかメッセージが表示されます。チェックする場合は、【はい】を押して、画面の指示に従って操作してください。チェックしない場合は、【いいえ】を押します。

6 を押して操作を終了する

用紙送り量を補正する

【用紙送り量の補正】

用紙送り量を補正し、印刷面に出る規則的な筋を減らすことができます。

1 を押す

2 【印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善】を押す

3 【用紙送り量の補正 - 周期スジの改善】を押す

4 【次へ】を押し、画面の指示に従って設定および用紙をセットする

5 【スタート】を押す

「用紙送り量チェックシート」が印刷されます。

6 印刷されたチェックシートのパターンで、最も筋が目立たない番号を選び、【OK】を押す

印刷設定オプションを変更する

【印刷設定オプション】

用紙が汚れたり、罫線がずれるなど、印刷品質が良くないときは、下記の手順をお試してください。

また、乾きにくい紙を使用する場合には、あらかじめ設定することができます。

 この設定は、コピーやメディアプリントなど、本製品から印刷する場合に有効です。パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーで設定を変更してください。
プリンタードライバーの設定について詳しくは、「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。

1

を押す

2

【印刷設定オプション】を押す

3

設定したい項目を選び、画面の指示に従って設定を行う

- 【用紙汚れの低減】：
用紙汚れや用紙詰まりがある場合。
- 【罫線ずれの低減】：
罫線ずれがある場合。
- 【乾きにくい紙】：
乾きにくい用紙を使用する場合。

4

を押して操作を終了する

こんなときは

困ったときは

本製品の設定内容や機能を確認する

【レポート印刷】

-  レポート印刷で使用する用紙は、【トレイ設定：ファクス】で設定したトレイから給紙されます。
⇒ 25 ページ「コピー、ファクス、JPEG プリントのときに使うトレイを選択する」

1 用紙をトレイにセットする

- ⇒ 13 ページ「用紙トレイ 1 に A4 の用紙をセットする」
⇒ 22 ページ「多目的トレイにセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、▲/▼ を押して画面を送ります。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
⇒ 101 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
電話帳に登録されている内容を印刷します。電話帳リストは、モノクロで印刷されます。
- 【通信管理レポート】：
⇒ 100 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
⇒ 102 ページ「着信履歴リストを印刷する」

5 【はい】を押す

選んだレポートが印刷されます。

Memo

第 10 章

付録

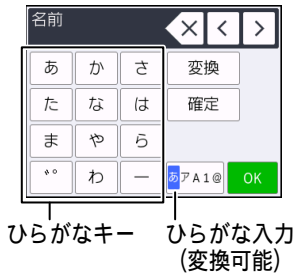
文字の入力方法	128
入力画面例	128
ひらがな / カタカナの文字の割り当て	128
機能ボタンの使いかた	129
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）	129
入力例	129
機能一覧	130
ファクスボタン	130
コピーボタン	132
スキャンボタン	134
メディアボタン	137
クラウドボタン	139
お役立ちツールボタン	139
便利な A3 コピーボタン	139
Wi-Fi® 設定ボタン	139
インクボタン	140
メニューボタン	141
全てのメニューボタン	143
ショートカットボタン	151
仕様	152
使用環境	157
索引	158

文字の入力方法

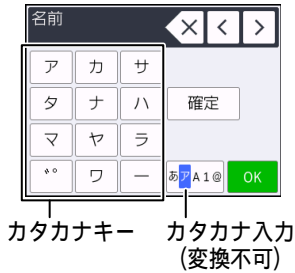
発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例

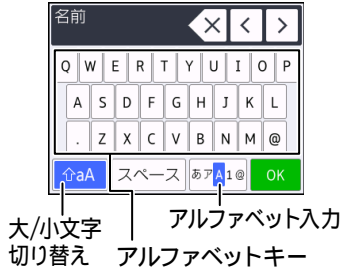
● ひらがな / 漢字入力画面



● カタカナ入力画面



● アルファベット入力画面



● 数字入力画面



● 記号入力画面



ひらがな / カタカナの文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ゝ っ】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワラン
【ナ】	ナニヌネノ	【ゝ っ】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
	文字を消去します。
	カーソルを左に戻します。
	カーソルを右に移動します。 同じボタンで続けて入力する場合には、  を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あア A1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

 変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ ^{*1}	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 ^{*2}	○	○	○	10

^{*1} 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「*」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。

発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

^{*2} 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

 漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
 を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【ゝ】を 1 回押す	すすゝ
【か】を 2 回押す	すすき
【変換】を 1 回押す	スズキ すすき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あア A1@】を 1 回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

機能一覧

本製品で設定できる内容や機能は次のとおりです。画面のメッセージに従って操作してください。

ファクスボタン

待ち受け画面の【ファクス】を押して表示される画面で、ファクスの送受信、閲覧および関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信*1	オンフック	受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。			—
	再ダイヤル (ポーズ)	直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルからポーズボタンに変わります。			—
	電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		—
			登録 / 編集	電話帳登録	⇒基本編
				グループ登録	⇒107ページ
				変更	⇒106ページ
				消去	
			送信先に設定		⇒基本編
	履歴	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前を表示) 再ダイヤルは、直前に送信した相手先をダイヤルします。	再ダイヤル		—
			発信履歴	送信先に設定	⇒ 72 ページ
				設定	⇒104ページ
			着信履歴	電話帳に登録	
				消去	⇒104ページ
				送信先に設定	⇒ 72 ページ
				設定	⇒104ページ
				電話帳に登録	
				消去	
	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	標準 / ファイン / スーパーファイン / 写真		⇒ 70 ページ
	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	自動 / 濃く / 薄く		⇒ 70 ページ
	原稿サイズ	ファクス送信するときの読み取りサイズを設定します。	A4 / B4 / A3		⇒ 70 ページ
	長尺原稿送信	ADF (自動原稿送り装置) を使って長尺原稿を送信する方法を表示します。	—		⇒ 70 ページ
	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加	番号追加	⇒ 74 ページ
				電話帳から選択	
				検索して選択	
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	オン / オフ		⇒ 76 ページ
	カラー設定	相手にモノクロ / カラーのどちらで送るかを設定します。	モノクロ / カラー		⇒ 71 ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	タイマー送信	オン / オフ	⇒ 78 ページ
			指定時刻	— (現在時刻を表示)	

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照		
ファクス送信*1	設定変更	とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。		オン／ オフ	⇒ 79 ページ	
		リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。		オン／ オフ	⇒ 80 ページ	
		海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。		オン／ オフ	⇒ 81 ページ	
		履歴	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前を表示) 再ダイヤルは、直前に送信した相手先をダイヤルします。	再ダイヤル		－	
				発信履歴	送信先に設定		⇒ 72 ページ
					設定	電話帳に登録	⇒104ページ
				消去			
				着信履歴	送信先に設定		⇒ 72 ページ
		設定	電話帳に登録		⇒104ページ		
			消去				
	電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		－		
			登録 / 編集	電話帳登録	⇒基本編		
				グループ登録	⇒107ページ		
				変更	⇒106ページ		
				消去			
	送信先に設定		⇒基本編				
	設定を保持する	変更した以下の設定を保持できます。 ファクス画質・原稿濃度・原稿サイズ・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信		⇒ 71 ページ			
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		⇒ 71 ページ				
ショートカット登録	ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 送信先・ファクス画質・原稿濃度・原稿サイズ・同報送信・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信・海外送信モード		－				
受信ファクス*1		受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。		⇒ 89 ページ			
電話帳*1		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	印刷／消去		全て印刷 (新着ファクス) ／ 全て印刷 (既読ファクス) ／ 全て消去 (新着ファクス) ／ 全て消去 (既読ファクス)		
			検索		－		
			登録 / 編集	電話帳登録	⇒基本編		
				グループ登録	⇒107ページ		
				変更	⇒106ページ		
消去							
送信先に設定		⇒基本編					

《第 10 章 付録》

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
履歴 *1	発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に登録されている場合、その名前を表示) 再ダイヤルは、直前に送信した相手先をダイヤルします。	再ダイヤル		—
		発信履歴	送信先に設定	⇒ 72 ページ
			設定	⇒ 104 ページ
			電話帳に登録 消去	
		着信履歴	送信先に設定	⇒ 72 ページ
			設定	⇒ 104 ページ
			電話帳に登録 消去	

*1 みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、【ファクス】のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

コピーボタン

待ち受け画面の【コピー】を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
設定変更	コピー画質	標準 / グラフ / 地図 / テキスト / 写真		⇒ 46 ページ
	用紙タイプ	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 光沢 / その他光沢		⇒ 46 ページ
	用紙サイズ	A4 / A3 / B5 / B4 / A5 / 2L 判 / L 判 / ハガキ / A6		⇒ 46 ページ
	用紙トレイ選択	用紙トレイ #1 / 多目的トレイ / トレイ自動選択		⇒ 46 ページ
	拡大 / 縮小	等倍 100%	—	⇒ 47 ページ
		拡大	240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% A4 ⇒ A3、B5 ⇒ B4 123% A4 ⇒ B4、A5 ⇒ B5 115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
		縮小	86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5 81% B4 ⇒ A4、B5 ⇒ A5 69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5、A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
		用紙に合わせる	—	
		カスタム (25-400%)	25 - 400 (100)	
	コピー濃度	-2 / -1 / 0 / +1 / +2		⇒ 47 ページ
	スタック / ソート	スタックコピー / ソートコピー		⇒ 48 ページ
	レイアウト コピー	オフ (1in1) / 2in1 (縦長) / 2in1 (横長) / 2in1 (ID カード) / 4in1 (縦長) / 4in1 (横長) / 2 枚に分割 / ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)		⇒ 49 ページ

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照		
設定変更	レイアウト選択		B4 サイズで【2in1】選択時 B5x2 ⇒ B4x1 / B4x2 ⇒ B4x1 A3 サイズで【2in1】選択時 A4x2 ⇒ A3x1 / A3x2 ⇒ A3x1 A3 サイズで【ポスター（2x2）】選択時 A4x1 ⇒ A3x4 / A3x1 ⇒ A3x4		—		
	傾き補正		自動/ オフ		⇒ 52 ページ		
	両面コピー		オフ / 片面⇒両面 / 両面⇒両面		⇒ 53 ページ		
			とじ方向	長辺とじ / 短辺とじ			
	便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	—		—	
		インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	—		⇒ 54 ページ	
		裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	—		⇒ 55 ページ	
		ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	—		⇒ 55 ページ	
		透かしコピー	コピー画像に5種類のテキストの中から1つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL / 重要 / COPY / 社外秘 / 至急		⇒ 56 ページ
				位置	A / B / C / D / E / F / G / H / I / 全面		
				サイズ	小 / 中 / 大		
				回転	-90° / -45° / 0° / 45° / 90°		
				透過度	-2 / -1 / 0 / +1 / +2		
	色	黒 / 緑 / 青 / 紫 / 赤 / オレンジ / 黄					
地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱 / 中 / 強		⇒ 56 ページ			
設定を保持する		変更した設定内容を次に保持し直すかりセットするまで維持し続けます。			⇒ 47 ページ		
設定をリセットする		設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒ 47 ページ		
ショートカット登録		以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 コピー画質・用紙タイプ・用紙サイズ・用紙トレイ選択・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウト コピー・レイアウト選択・傾き補正・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー			—		

スキャンボタン

待ち受け画面の【スキャン】を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目		機能説明	設定内容	参照
メディア		スキャンした画像を USB フラッシュメモリーに保存します。	—	⇒ 60 ページ
PC	ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用 & ネットワーク
	OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	
	イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	
	E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	
FTP サーバー		スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	プロファイル名選択	
ネットワーク		スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	プロファイル名選択	
クラウド		スキャンしたデータを各種ウェブサービスにアップロードします。	—	
Web サービス ^{*1}		スキャンした画像を Web サービススキャンで使うことができます。	スキャン	
			電子メール用にスキャン	
			FAX 用にスキャン	
			印刷用にスキャン	

^{*1} Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキンの種類を選んだあと、保存するファイルの設定内容を変更および確認することができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキンの種類					
			メ タ タ グ	PC				FTP サーバー ネットワーク
				フ ァ イ ル	OCR	イ メ ー ジ	E メ ー ル 添 付	
設定変更	スキン設定 ^{*1}	スキンの設定を本体から変更できます。		○	○	○	○	
	カラー設定 ^{*2}	カラーを設定します。			○			
		カラー／グレー／モノクロ	○	○		○	○	○
	解像度 ^{*2*3}	100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi		○	○	○	○	
		100 dpi / 150 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動	○					○
	ファイル形式 ^{*2*4}	Text / HTML / RTF			○			
		PDF シングルページ / PDF マルチページ / JPEG / PDF/A シングルページ / PDF/A マルチページ / TIFF シングルページ / TIFF マルチページ	○					○
		PDF シングルページ / PDF マルチページ / JPEG / TIFF シングルページ / TIFF マルチページ		○		○	○	
	原稿サイズ ^{*2}	A4 / A3 / B5 / B4 / A5 / 2L 判 / L 判 / ハガキ / A6 / 名刺 (90x60mm)	○	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード	ADF (自動原稿送り装置) にセットした原稿サイズでスキャンします。	○					○
	ファイル名	ファイル名を設定します。	○					○
	ファイル名項目順序	ファイル名の順番を、日付・カウンタ (連番)・任意の文字列から選んで設定します。	○					○
	明るさ ^{*2}	-50 / -25 / 0 / +25 / +50	○	○	○	○	○	○

《第 10 章 付録》

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキャンの種類						
				メディア	PC				FTPサーバー	ネットワーク
					ファイル	OCR	イメージ	Eメール添付		
設定変更	コントラスト * ²	コントラスト（色の濃度）を調整します。	-50 / -25 / 0 / +25 / +50	○	○	○	○	○	○	○
	おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。	オン/ オフ	○						
	ADF 傾き補正 * ²	ADF（自動原稿送り装置）から原稿を読み取った場合に、原稿の傾きを自動的に補正します。	自動 /オフ	○	○	○	○	○	○	○
	白紙除去 * ²	スキャンした原稿の中に白紙が混じていた場合に、白紙を除いて保存します。	オン/ オフ	○	○	○	○	○	○	○
	白紙除去レベル調整	白紙除去を行う場合の感度を設定します。	-2 / -1 / 0 / +1 / +2	○					○	○
	地色除去 * ²	原稿の地色（用紙色または背景色）を消して読み取ります。	オフ /弱/中/強	○	○	○	○	○	○	○
	ユーザー名	ユーザー名を設定します。							○	○
	設定を保持する	変更した設定を初期値として保持します。		○						
	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。		○						
ショートカット登録		変更した設定をショートカットとして登録することができます。		○	○	○	○	○		
		プロファイル名をショートカットに登録できます。							○	○

^{*1} 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト **ControlCenter** がインストールされていない場合は表示されません。

^{*2} OCR、ファイル、イメージ、Eメール添付では、【本体側の設定に従う】に設定した場合にのみ選択できます。

^{*3} 選択できる設定値は、スキャンの種類によって異なります。

^{*4} 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。

メディアボタン

待ち受け画面の【メディア】を押して表示される画面で、USB フラッシュメモリー内のデータをプリントしたり、スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存したりできます。

設定項目		機能説明	設定内容		参照
JPEG プリント	画像選択	USB フラッシュメモリー内の画像をプリントします。	(サムネイル)		⇒基本編
			全選択	写真のプリント枚数をすべて 1 枚に設定します。	－
	インデックス	インデックスシートの印刷または番号を指定して画像をプリントをします。	インデックスシート		⇒66ページ
			番号指定プリント		⇒66ページ
スキャン：メディア		スキャンした画像を USB フラッシュメモリーに保存します。	－		⇒60ページ
クラウド		ウェブサービスに接続します。	－		⇒パソコン活用 & ネットワーク

《第 10 章 付録》

JPEG プリントは、プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、設定を確認・変更できます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	JPEG プリントの種類		
				画像選択	インデックス	
					インデックスシート	番号指定プリント
印刷設定	プリント画質	プリント時の画質を設定します。	標準／きれい	○		○
	用紙タイプ	用紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ その他光沢	○		○
			普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢		○	
	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。	L 判／2L 判／ハガキ／A4／A3	○		○
	用紙トレイ選択	使用する用紙トレイを設定します。	用紙トレイ #1／ 多目的トレイ ／トレイ自動選択	○		○
	プリントレイアウト	1 枚の用紙に複数枚の写真を割り付けてプリントします。	オフ ／1x2／2x2／2x4／3x3／4x4	○		○
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2	○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト(色の濃度)を調整します。	-2／-1／ 0 ／+1／+2	○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	する ／しない	○		○
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	する ／しない	○		○
	日付印刷	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／ しない	○		○
	設定を保持する	変更した設定を保持します。		○		○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		○		○

クラウドボタン

待ち受け画面の【クラウド】を押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。

詳しくは、「ユーザズガイド パソコン活用 & ネットワーク」をご覧ください。

お役立ちツールボタン

待ち受け画面の【お役立ちツール】を押して表示される画面で、原稿を赤色のペンで囲むと、その部分だけを抜き出してスキャン、コピー、削除できる機能などを使うことができます。

詳しくは、「ユーザズガイド パソコン活用 & ネットワーク」をご覧ください。

便利な A3 コピーボタン

待ち受け画面の【便利な A3 コピー】を押して表示される画面で、A4 原稿や A3 用紙を使ったいろいろなコピーができます。

設定項目	機能説明	参照
A3 2in1	A4 原稿 2 枚を A3 用紙 1 枚に並べてコピーします。	⇒ 57 ページ
A3 等倍	A3 原稿 1 枚を等倍（100%）でコピーします。	
A4 ⇒ A3 拡大	A4 原稿 1 枚を A3 用紙 1 枚に拡大（141%）してコピーします。	
A3 ⇒ A4 縮小	A3 原稿 1 枚を A4 用紙 1 枚に縮小（69%）してコピーします。	
A4 + ノート（横）	A4 縦原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に横罫線を配置します。	
A4 + ノート（縦）	A4 横原稿 1 枚を A3 用紙の上側に原寸でコピーし、下側に横罫線を配置します。	
A4 + 方眼	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側に方眼罫を配置します。	
A4 + メモ	A4 原稿 1 枚を A3 用紙の左側に原寸でコピーし、右側いっぱいを空白にします。	
A4 センター	A4 原稿 1 枚を原寸で A3 用紙の中央にコピーします。	

Wi-Fi® 設定ボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒ かんたん 設置ガイド
接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	—
WPS	WPS 機能を使って自動接続を行います。	⇒ パソコン 活用 & ネット ワーク

インクボタン

待ち受け画面の  を押した場合に表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容		参照
インク残量	インク残量を表示します。	－		⇒122ページ
インクカートリッジ型番	インクカートリッジの型番を表示します。	－		⇒122ページ
印刷品質のチェックと改善 - かすれ，スジ，ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善		⇒基本編
		罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編
		用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		⇒123ページ
ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラックのみ／カラーのみ／全色	普通 - かすれ，スジが少しの時 ／強力 - かすれ，スジがひどい時 ／超強力 - 殆どインクが出ない時	⇒123ページ
詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	－		⇒基本編
給紙ローラーのクリーニング - 給紙の失敗の改善	給紙ローラーのクリーニングを行います。	－		⇒別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」
印刷設定オプション	用紙汚れや、罫線ずれを減らします。また、乾きにくい用紙を使用する場合に設定します。	用紙汚れの低減		⇒124ページ
		罫線ずれの低減		
		乾きにくい紙		

メニューボタン

待ち受け画面の  を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
時計セット (現在の日時を表示)	日付	－ (2017.01.01)	⇒ 30 ページ
	時刻	－ (00:00)	
	タイムゾーン	タイムゾーン (時刻帯) を設定します。 － (UTC + 09:00)	⇒ 30 ページ
メンテナンス	印刷品質の チェックと改善 - かすれ, スジ, ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ, 白スジの改善 ⇒基本編
			罫線ずれの補正 - 罫線ずれ, 文字ぶれ改善 ⇒基本編
			用紙送り量の補正 - 周期スジの改善 インクボタン () 参照 ⇒140ページ
	ヘッドクリー ニング - ノズル詰まりの 解決	ヘッドクリーニングを行 います。	ブラックのみ／ カラーのみ／全 色 普通 - かすれ, スジが 少しの時 ／強力 - かすれ, スジが ひどい時 ／超強力 - 殆どインクが 出ない時 インクボタン () 参照 ⇒140ページ
	詰まった紙片の 除去 - 繰り返す紙詰ま りの解決	詰まった紙片を取り除きま す。	－ ⇒基本編
	給紙ローラーの クリーニング - 給紙の失敗の改 善	給紙ローラーのクリーニン グを行います。	－ ⇒別紙「給紙 ローラーの クリーニン グキット」
	インク残量	インク残量を表示します。	－ インクボタン () 参照 ⇒140ページ
	インクカート リッジ型番	インクカートリッジの型番 を表示します。	－ インクボタン () 参照 ⇒140ページ
	印刷設定オプ ション	用紙汚れや、罫線ずれを減ら します。また、乾ぎにくい用 紙を使用する場合に設定し ます。	用紙汚れの低減 罫線ずれの低減 乾ぎにくい紙 インクボタン () 参照 ⇒140ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルの設定を 行います。	－
	無線接続ウィ ザード	無線 LAN の機器を検索し、接 続を行います。	－ ⇒かんたん 設置ガイド
	接続アシスタ ント	付属の CD-ROM を使用して 無線 LAN 設定を行います。	－

《第 10 章 付録》

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
Wi-Fi	WPS	WPS 機能を使って自動接続を行います。	－		⇒パソコン活用＆ネットワーク
	WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントでPINコードを入力してセキュリティの設定を行います。	－		
	無線状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－		－
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	－		
静音モード		印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。	オン／ オフ		⇒ 36 ページ
用紙トレイ設定	用紙トレイ #1	用紙トレイ1にセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／その他光沢	⇒基本編
			用紙サイズ	A4 ／A3／B5／B4／A5／B6／2L判／L判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／リーガル／レジャー／角形2号封筒／長形3号封筒／長形4号封筒／洋形2号封筒／洋形4号封筒／Com-10／DL封筒	⇒基本編
	多目的トレイ	多目的トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／その他光沢	⇒基本編
			用紙サイズ	A4 ／A3／B5／B4／A5／B6／2L判／L判／ハガキ／往復ハガキ／ A6 ／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／ US レター／リーガル／レジャー／角形2号封筒／長形3号封筒／長形4号封筒／洋形2号封筒／洋形4号封筒／Com-10／DL封筒	⇒基本編
みるだけ受信		ファクスの受信方法を表示します。押すとみるだけ受信のオン / オフを設定できます。	オン (画面で確認) ／ オフ (受信したら印刷)		⇒ 88 ページ
全てのメニュー		本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	－		⇒143ページ

全てのメニューボタン

待ち受け画面の 、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、次の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目		機能説明		設定内容（太字：初期設定値）		参照
基本設定	メンテナンス	印刷品質のチェックと改善 - かすれ、スジ、ずれの改善	印刷テストを行います。	印刷品質のチェックと改善 - かすれ，白スジの改善		⇒基本編	
				罫線ずれの補正 - 罫線ずれ，文字ぶれ改善		⇒基本編	
				用紙送り量の補正 - 周期スジの改善		インクボタン () 参照 ⇒140ページ	
		ヘッドクリーニング - ノズル詰まりの解決	ヘッドクリーニングを行います。	ブラックのみ ／カラーのみ ／全色	普通 - かすれ，スジが少しの時 ／強力 - かすれ，スジがひどい時 ／超強力 - 殆どインクが出ない時	インクボタン () 参照 ⇒140ページ	
		詰まった紙片の除去 - 繰り返す紙詰まりの解決	詰まった紙片を取り除きます。	－		⇒基本編	
		給紙ローラーのクリーニング - 給紙の失敗の改善	給紙ローラーのクリーニングを行います。	－		⇒別紙「給紙ローラーのクリーニングキット」	
		インク残量	インク残量を表示します。	－		インクボタン () 参照 ⇒140ページ	
		インクカートリッジ型番	インクカートリッジの型番を表示します。	－		インクボタン () 参照 ⇒140ページ	
	印刷設定オプション	用紙汚れや、罫線ずれを減らします。また、乾きにくい用紙を使用する場合に設定します。	用紙汚れの低減		インクボタン () 参照 ⇒140ページ		
			罫線ずれの低減				
			乾きにくい紙				
用紙トレイ設定	用紙トレイ #1	用紙トレイ1にセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	⇒基本編		
			用紙サイズ	A4／A3／B5／B4／A5／B6／2L 判／L 判／ハガキ／往復ハガキ／A6／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／US レター／リーガル／レジャー／角形 2 号封筒／長形 3 号封筒／長形 4 号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／Com-10／DL 封筒	⇒基本編		

《第 10 章 付録》

基本設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
	用紙トレイ設定	多目的トレイ	多目的トレイにセットした用紙の種類とサイズを設定します。	用紙タイプ	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	⇒基本編
				用紙サイズ	A4／A3／B5／B4／A5／B6／2L 判／L 判／ハガキ／往復ハガキ／A6／インデックスカード／ポストカード／エグゼクティブ／US レター／リーガル／レジャー／角形 2 号封筒／長形 3 号封筒／長形 4 号封筒／洋形 2 号封筒／洋形 4 号封筒／Com-10／DL 封筒	⇒基本編
		トレイ設定：コピー	コピー時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ選択	用紙トレイ #1／多目的トレイ／トレイ自動選択	⇒ 25 ページ
				トレイ優先順位	トレイ 1 > 多目的／多目的 > トレイ 1	⇒ 25 ページ
		トレイ設定：ファクス	ファクス時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ選択	用紙トレイ #1／多目的トレイ／トレイ自動選択	⇒ 25 ページ
				トレイ優先順位	トレイ 1 > 多目的／多目的 > トレイ 1	⇒ 25 ページ
		トレイ設定：プリント	プリント時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ優先順位	トレイ 1 > 多目的／多目的 > トレイ 1	⇒ 25 ページ
		トレイ設定：JPEG プリント（メディア）	JPEG プリント時に使用する用紙トレイを設定します。	トレイ選択	用紙トレイ #1／多目的トレイ／トレイ自動選択	⇒ 25 ページ
				トレイ優先順位	トレイ 1 > 多目的／多目的 > トレイ 1	⇒ 25 ページ
		トレイ確認	用紙トレイ設定の確認メッセージを表示するかどうかを設定します。	オン／オフ		⇒基本編
	静音モード		印刷時に発生する音を軽減するかどうかを設定します。	オン／オフ		メニューボタン参照 ⇒141ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／中／大		⇒ 32 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／小／中／大		
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／中／大		
	画面の明るさ	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	明るく／標準／暗く		⇒ 33 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	10 秒／30 秒／1 分／2 分／3 分／5 分		

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	画面設定	スキャン画面	スキャンモードの初期画面を設定します。	スキャン機能一覧 ／OCR／ファイル／イメージ／メディア／Eメール添付／FTPサーバー／ネットワーク	⇒ 33 ページ
	通知画面設定	原稿取り忘れ	原稿台ガラスに原稿が残っている場合にメッセージを表示するかどうかを設定します。	オン ／オフ	—
		コピー原稿セットガイド	原稿カバーを開いたときに、原稿の置き方の案内を表示するかどうかを設定します。	オン ／オフ	—
		スキャン結果（白紙除去）	スキャン完了後に、白紙除去したページ数を表示するかどうかを設定します。	オン／ オフ	—
	キーボード設定（英字入力）		キーボードの設定を行います。	QWERTY 入力 ／かなめくり入力	⇒ 34 ページ
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／2 分／3 分／ 5 分 ／10 分／30 分／60 分	⇒ 35 ページ

● ショートカット設定

機能	設定項目	機能説明	参照
ショートカット設定	(ショートカットボタンを選択)	ショートカット名の編集や消去をします。	⇒ 37 ページ
		名前の変更	
		編集	
		消去	

《第 10 章 付録》

● ファクス

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照		
ファクス	かんたんファクス設定	ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定します。	－	⇒ 40 ページ		
	受信設定	呼 出 ベ ル 回数	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出ベル回数を設定します。	0 ～ 10（初期設定は 4 ）	⇒基本編	
		受 信 モ ー ド	ファクスの受信方法を選びます。	FAX= ファクス専用 ／F/T= 自動切換え／留守=外付け留守電／TEL= 電話	⇒基本編	
		再 呼 出 ベ ル 回数	「自動切換えモード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。	8 ／ 15 ／ 20	⇒基本編	
		み る だ け 受信	みるだけ受信するかどうかを設定します。	オン（画面で確認）／ オフ（受信したら印刷）	メニューボタン参照 ⇒141ページ	
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	オン／ オフ	⇒ 92 ページ	
		リ モ ー ト 受信	本製品と接続している電話機からファクスを受信する機能を設定します。	オン／ オフ	⇒ 94 ページ	
		自動縮小	【用紙サイズ】で設定した用紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	オン ／オフ	⇒ 93 ページ	
		PC ファクス受信	PCファクス受信の内容を設定します。	オン／ オフ ※みるだけ受信が設定されていない状態で、PC ファクス受信を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	⇒ 97 ページ	
		メ モ リ 受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	オフ ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ／ファクスクラウド転送 ※みるだけ受信が設定されていない状態で、ファクス転送を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	⇒ 95 ページ ⇒113ページ	
		受 信 ス タ ンプ	ファクス印刷時に受信した日時を付加します。	オン ／オフ	⇒ 93 ページ	
	電話回線診断	現在の回線の状態を診断し、結果を印刷します。	－	⇒基本編		
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	送信毎に印刷／送信毎に印刷（+画像）／エラー時のみ／ エラー時のみ（+画像） ／印刷しない	⇒101ページ	
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	通 信 管 理 レポート	レポート出力しない／ 50 件ごと ／6 時間ごと／12 時間ごと／24 時間ごと／2 日ごと／7 日ごと	⇒100ページ
				印刷時刻指定（初期設定は 00:00 ）		
				曜日指定	月曜日 ごと／火曜日ごと／水曜日ごと／木曜日ごと／金曜日ごと／土曜日ごと／日曜日ごと	

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
ファクス	ファクス出力	みただけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	—	⇒ 95 ページ
	暗証番号	外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	— — — *	⇒ 110 ページ
	ダイヤル制限機能	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。送る状況によって、別々の設定ができます。	2 度入力 / オン / オフ	⇒ 86 ページ
	通信待ち一覧	送信待ちデータなどの設定を確認したり送信をやめたりできます。	—	⇒ 99 ページ
	ナンバーディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを使用する / しないを設定します。	あり (本製品に表示) / あり (外付け電話に表示) / なし	⇒ 基本編
	データネットワーク設定	IP ファクス	専用 / 優先 / オフ	⇒ 87 ページ
		送信速度	自動 / 標準 / 高速 / 最高速	

《第 10 章 付録》

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合は、「ユーザズガイド パソコン活用 & ネットワーク」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	Auto / Static
			WINS サーバー	WINS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
			DNS サーバー	DNS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
			APIPA	APIPA を設定します。	オン /オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン /オフ
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	Auto / 100B-FD / 100B-HD / 10B-FD / 10B-HD
		有線 LAN 状態		有線 LAN の接続状態を表示します。	アクティブ 100B-FD / アクティブ 100B-HD / アクティブ 10B-FD / アクティブ 10B-HD / 未接続 / 有線 LAN オフ
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	—
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	Auto / Static
			WINS サーバー	WINS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
			DNS サーバー	DNS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
			APIPA	APIPA を設定します。	オン /オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン /オフ
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	—

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定)	
ネットワーク	無線 LAN	接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	－	
		WPS	WPS 機能を使って自動接続を行います。	－	
		WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	－	
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を表示します。	(32 文字まで表示)
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	－
	MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－	
	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続	ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		PIN コード接続	WPS (PIN 方式) で簡単に Wi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		手動接続	手動でWi-Fi Direct® ネットワーク接続ができます。	－	
		グループ オーナー	本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／ オフ	
		デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	－
			SSID	グループオーナーの SSID (ネットワーク名) を表示します。 (自分の SSID)／(接続相手の SSID)／未接続	－
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	－
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	－
			電波状態	電波状態を 4 段階 (強い／普通／弱い／なし) で表示します。	－
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct® 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／ オフ
	ブラウザからの お知らせ	ブラウザからのお知らせ	ブラウザからのお得な最新情報を取得するかどうかを設定します。	オン ／オフ	
		ステータス	新サービス開始通知の設定状態を表示します。	－	

《第 10 章 付録》

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／ オフ
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	(8080)
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－
	有線／無線切替え		有線LAN／無線LANを切り替えます。	有線 LAN ／無線 LAN	
	ネットワーク設定リセット		ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	－	

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
通信メニュー	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒ 101 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 125 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒ 100 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 125 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワークの設定内容を印刷します。	⇒ 125 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 125 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒ 102 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 基本編
	ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。	⇒ 基本編
	ファームウェア更新	最新のファームウェアに更新します。	⇒ 基本編
	ファームウェア更新通知	ファームウェアの更新を取得するかどうかを設定します	⇒ 基本編

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
初期設定	時計セッティング	日付	日付を設定します。 － (2017.01.01)	メニュー ボタン参照 ⇒141ページ
		時刻	時刻を設定します。 － (00:00)	
		タイムゾーン	タイムゾーン（時刻帯）を設定します。 － (UTC + 09:00)	
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。 ファクス：－ 名前：－	⇒基本編
	回線種別設定		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。 プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ ダイヤル 20PPS ／自動設定	⇒ 39 ページ
	ファクス自動再ダイヤル		ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。 オン ／オフ	⇒ 84 ページ
	ダイヤルトーン設定		ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。 検知する ／検知しない	⇒基本編
	外線番号		構内交換機（PBX）などを使用している場合に、ファクス番号の頭にダイヤルする必要のある識別番号をあらかじめ設定しておくことができます。 オン／ オフ	⇒ 85 ページ
	特別回線対応		特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。 一般 ／PBX／光・ISDN	⇒基本編
	安心通信モード		安心通信モードに設定します。 高速 ／標準／安心 (VoIP)	⇒基本編
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の機能設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒基本編
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリーを消去します。	
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
	表示言語設定		画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English. 日本語 ／英語	⇒ 34 ページ

● サービス（エラーが発生したときにのみ表示されます）

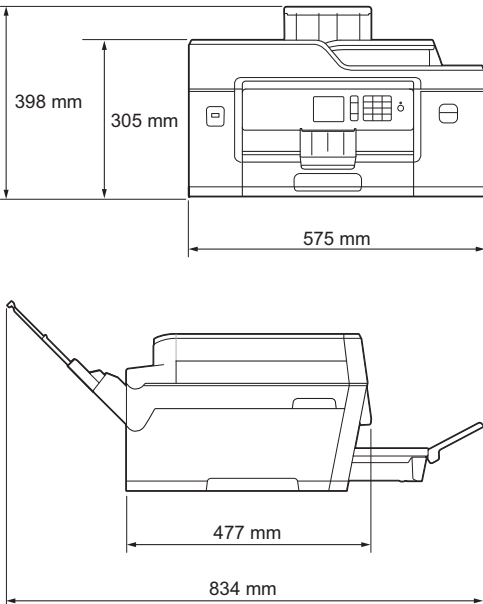
機能	設定項目	機能説明	参照
サービス	データ転送	ファクス転送	⇒基本編
		レポート転送	

ショートカットボタン

待ち受け画面の【ショートカット】を押して表示される画面で、よく使う機能や設定を「ショートカット」として登録することができます。⇒ 37 ページ「ショートカットを登録する」

仕様

基本設定

記録方式	インクジェット式		
メモリー容量	128MB		
LCD（液晶ディスプレイ）	2.7型 TFTカラー LCD（6.8cm/67.5mm TFT Color LCD）		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力 *1	コピー時：	約28W *2	
	稼動準備時：	約6.5W *3	
	スリープモード時：	約1.6W *3	
	電源OFF時：	約0.04W *3*4	
外形寸法			
製品重量 ※インクカートリッジを含む	19.8kg		
稼動音（音圧レベル）	動作時：	約50dB（A） *5	
稼働音（音響レベル） *6	コピー時（モノクロ）：	6.38B（A）	
	コピー時（カラー）：	6.38B（A）	
温度	動作保証温度：	10～35℃	
	最高印刷品質保証温度：	20～33℃	
湿度 ※結露なきこと	動作保証湿度：	20～80%	
	最高印刷品質保証湿度：	20～80%	
ADF（自動原稿送り装置）積載枚数	30枚（用紙坪量：80g/m ² （A4））		

原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大297mm 長さ：最大431.8mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：105mm～297mm 長さ：148mm～431.8mm （長尺原稿機能を使った場合は、長さが最大900mm）
-------	--

*1 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

*2 ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

*3 IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

*4 ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度、解除前の状態となります。

*5 お使いの機能により数値は変わります。

*6 表示 A 特性音響パワーレベル LwAd が 6.30B (A) を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

印刷用紙

給紙 ^{*1}	用紙トレイ 1 ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*2}、再生紙 ■用紙サイズ： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、B6（JIS）、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 ■最大用紙容量：250枚（80g/m² 普通紙） 多目的トレイ^{*3} ■用紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*2}、再生紙 ■用紙サイズ： 《横方向》 A4、USレター、エグゼクティブ、B5（JIS） 《縦方向》 A3、レジャー、B4（JIS）、リーガル、A5、B6（JIS）、A6、インデックスカード、L判、2L判、ハガキ、往復ハガキ、ポストカード、DL封筒、Com-10、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 ■最大用紙容量：100枚（80g/m² 普通紙）、50枚（220g/m² 普通紙はがき/インクジェット紙はがき）
排紙	A4：最大100枚（80g/m² 普通紙） A4より大きいサイズ：最大50枚（80g/m² 普通紙） （用紙は印刷面を上にして排出されます。）

*1 用紙のタイプやサイズ、厚さ、容量について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

*2 光沢紙を使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

*3 光沢紙、封筒、はがきは、多目的トレイをお勧めします。

ファクス

型式	ITU-T Super Group3
通信速度	最大33,600bps（自動フォールバック機能付き）
最大有効読取幅	288mm（A3原稿読み取り時）
最大有効記録幅	291mm（A3サイズの場合）
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（一色につき8ビット/ 256階調）
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85本/mm • ファイン/ 写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	250件（200件（電話帳）/ 50件（直接入力））
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 ^{*1}	最大400枚
メモリー代行受信 ^{*1}	最大400枚

^{*1} A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本/mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー/モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	291mm（A3原稿読み取り時）
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最大1200×4800dpi
両面コピー	• 用紙タイプ：普通紙、再生紙 • 用紙サイズ：A3、B4（JIS）、A4、B5（JIS）、A5

メディア

互換性のあるメディア ^{*1}		USBフラッシュメモリー ^{*2}
JPEG プリント	解像度	最大 1200 x 4800 dpi
	用紙タイプ	普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙、再生紙
	用紙サイズ	A3、A4、ハガキ、L判、2L判
	ファイルフォーマット	JPEG ^{*3}
メディア保存	ファイルフォーマット	カラー/グレイ：JPEG、PDF モノクロ：TIFF、PDF

^{*1} 本製品には、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

^{*2} USB2.0 規格
最大 256GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

^{*3} プロGRESSIVE JPEG フォーマットには対応していません。

 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

スキャナー

カラー/モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/Windows® 10 OS X v10.9.5、10.10.x、10.11.x (Macintosh)
WIA 対応	あり Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8/Windows® 10
ICA 対応	あり OS X v10.9.5、10.10.x、10.11.x (Macintosh)
カラー階調	入力：48ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：16ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi（補間） ^{*1} 最大1200×2400dpi（原稿台ガラス） 最大600×600dpi（ADF（自動原稿送り装置））
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：295mm 長さ：429.8mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：295mm 長さ：429.8mm

^{*1} WIA ドライバー（Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 10 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

解像度	最大1200×4800dpi
最大印刷幅 ^{*1}	291mm [297mm (ふちなし印刷) ^{*2}]
ふちなし印刷用紙 ^{*3}	A3、レジャー、A4、USレター、A6、ポストカード、インデックスカード、ハガキ、L判、2L判
自動両面印刷	- 用紙タイプ：普通紙、再生紙 - 用紙サイズ：A3、レジャー、B4 (JIS)、リーガル、A4、USレター、エグゼクティブ、B5 (JIS)、A5、B6 (JIS)、ハガキ

^{*1} A3 用紙を印刷した場合。

^{*2} ふちなし印刷を設定した場合。

^{*3} 用紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 10 ページ「使用できる用紙」

インターフェイス

USB ^{*1*2}	5.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
LAN ^{*3}	カテゴリー 5以上の非シールドツイストペアケーブル (UTP) をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャ通信) IEEE 802.11g/n (Wi-Fi Direct [®] 接続)

^{*1} 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} ネットワークの仕様について詳しくは、「ネットワーク」(⇒ 156 ページ) をご覧ください。または「ユーザズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。

ネットワーク

 ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能 (Windows[®] のみ)、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BAdmin Light^{*1} も使用できます。(Windows[®] のみ)

^{*1} 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト (プラザーソリューションセンター) (support.brother.co.jp) から、Brother BAdmin Professional ユーティリティの最新バージョンをダウンロードして使用してください。(Windows[®] のみ)

無線セキュリティ	WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES) ^{*1}
無線セットアップサポート ユーティリティ	Wi-Fi Protected Setup [™] (WPS) 対応

^{*1} Wi-Fi Direct[®] は、WPA2-PSK (AES) のみ対応しています。

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス		プロセッサ	必要なディスク容量	
		USB ^{*2}	10/100Base-TX（イーサネット） 無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア （ドライバーを含む）
Windows [®]	Windows Vista [®] ^{*1*4}	プリント PC-FAX ^{*3} スキャン		32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ	500MB	1.3GB
	Windows [®] 7 ^{*1*4}					
	Windows [®] 8 ^{*1*4}					
	Windows [®] 8.1 ^{*1*4}					
	Windows [®] 10 Home ^{*1*4}					
	Windows [®] 10 Pro ^{*1*4}					
	Windows [®] 10 Education ^{*1*4}					
	Windows [®] 10 Enterprise ^{*1*4}					
Windows Server [®] 2008	なし	プリント	64 ビット (x64) のプロセッサ	50MB	なし	
Windows Server [®] 2008 R2						
Windows Server [®] 2012						
Windows Server [®] 2012 R2						
Macintosh	OS X 10.9.5 OS X 10.10.x OS X 10.11.x	プリント PC-FAX 送信 ^{*3} スキャン		Intel [®] プロセッサ	80MB	550MB

^{*1} WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

^{*4} Nuance™ PaperPort™ 14 は、Windows Vista® (SP2 以上)、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10 Home、Windows® 10 Pro、Windows® 10 Education および Windows® 10 Enterprise に対応しています。

- 最新のドライバーは support.brother.co.jp からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

0 発信	106
2in1 (ID カード) コピー	50
2in1 コピー	49
4in1 コピー	49

英字

ADSL 接続	42
CPU	157
ID カードコピー	50
IP ファクス	87
ISDN 接続	43
JPEG プリント	64
Macintosh	157
OS	157
PBX	44
PC ファクス受信	97
PC ファクス送信	83
USB フラッシュメモリー	64
Wi-Fi 設定ボタンの機能	139
Windows®	157

あ行

明るさ (JPEG プリント)	65
明るさ (画面)	33
暗証番号	110
インクカートリッジ型番	122
インクカートリッジの交換	120
インクカートリッジの廃棄	121
インク残量チェック	122
インク節約モード	54
インクボタンの機能	140
印刷が汚い	123
印刷設定オプション	124
印刷範囲	13
インデックスプリント	66
薄い (コピー / 印刷)	123
裏写り除去コピー	55
お手入れ	116
おまかせ一括スキャン	61
お役立ちツールボタンの機能	139
音量設定	32

か行

海外送信モード	81
外出先からの操作	111
外出先に転送	113
回線種別設定	39
回線接続 (電話 / ファクス)	41
外線発信番号	85

拡大 / 縮小 (コピー)	47
かすれる (コピー / 印刷)	123
画像トリミング	65
傾き補正	52
画面の設定	33
カラー設定 (ファクス)	71
かんたんファクス設定	40
キーボード設定	34
機能一覧	130
クラウドボタンの機能	139
クリーニング (プリントヘッド)	123
グループダイヤル	107
原稿サイズ (ファクス)	70
原稿濃度 (ファクス)	70
原稿の読み取り範囲	26
言語選択	34
構内交換機 (PBX)	44
コピー	
画質	46
濃度	47
設定変更	46
コピーボタンの機能	132
コントラスト (JPEG プリント)	65

さ行

再ダイヤル	84
地色除去コピー	56
自動再ダイヤル	84
自動縮小受信	93
写真プリント (JPEG プリント)	64
受信スタンプ	93
手動送信	73
仕様	152
使用環境	157
消去 (ファクスをメモリーから)	98
商標	6
照明ダウタイマー	33
ショートカット	
登録	37
編集 / 消去	38
呼び出し	37
親切受信	92
透かしコピー	56
スキャンしたデータをメディアに保存する	60
スキャンボタンの機能	134
スタックコピー	48
スピーカー音量	32
全てのメニューボタンの機能	143
スリープモード	35
静音モード	36
清掃	116
設定内容リスト	125
設定を保持する (JPEG プリント)	65
設定を保持する (スキャン)	60

設定を保持する (ファクス)	71
セットできる用紙	10
送信結果レポート	101
送信の中止	73, 99
送信待ちファクス	99
ソートコピー	48

た行

タイマー送信	78
タイムゾーン	30
ダイヤル回線	39
ダイヤル制限機能	86
ダウンタイマー (照明)	33
タッチパネル操作	8
多目的トレイに用紙をセット	22
着信音量	32
着信履歴から電話帳に登録	104
着信履歴からファクスを送る	72
着信履歴リスト	102
長尺原稿送信	70
通信管理レポート	100
通信待ち一覧	99
定期メンテナンス	123
データコネクト設定	87
デジタルテレビ接続	43
電話帳	
削除	106
変更	106
履歴から登録	104
電話帳リスト	125
電話呼び出し	113
同報送信	74
同報送信の中止	75
時計セット	30
とりまとめ送信	79
トレイ選択	25
トレイ優先順位	25

な行

日時セット	30
入力方法	128
ネットワーク設定リスト	125

は行

廃棄 (インクカートリッジ)	121
排紙ローラーの清掃	118
パソコンからファクスを送る	83
パソコンで電話帳に登録	108
発信履歴から電話帳に登録	104
発信履歴からファクスを送る	72
番号指定プリント	66
ひかり電話接続	42
ビジネスホン	44
日付印刷	65
表示言語設定	34
ファイル	134

ファクス	
印刷	89
消去	90
設定変更	70
転送	96, 97
メモリーで受信する	95
受信	88, 92
送信	70
ファクス画質	70
ファクス誤送信防止	86
ファクス出力	95
ファクス送受信テスト	27
ファクスボタンの機能	130
ふちなし印刷	65
ブックコピー	55
プッシュ回線	39
プラテン清掃	117
プリント画質 (JPEG プリント)	64
プリントレイアウト	65
分割コピー	51
ヘッドクリーニング	123
便利な A3 コピーボタンの機能	139
便利な A3 コピー	57
便利なコピー設定	47
ポスターコピー	51
ボタン確認音量	32

ま行

みてから送信	76
みただけ受信	88, 91
無線 LAN レポート	125
メディア保存	60
メディアボタンの機能	137
メニューボタンの機能	143
メモリー受信	95
メモリー受信したファクスを印刷する	95
メモリー代行受信	91
文字の入力方法	128

や行

用紙送り量補正	123
用紙サイズ (JPEG プリント)	64
用紙サイズ (コピー)	46
用紙種類	10
用紙タイプ (JPEG プリント)	64
用紙タイプ (コピー)	46
用紙トレイ設定	25
用紙トレイ選択 (JPEG プリント)	64
用紙トレイ選択 (コピー)	46
用紙のセット	
用紙トレイ	13, 16, 19, 21
多目的トレイ	22
読み取り範囲	26

ら行

リアルタイム送信	80
リモート受信	94
リモートセットアップ	108

《第 10 章 付録》

リモコンアクセス	111
リモコンコード	112
両面コピー	53
履歴削除	105
レイアウトコピー	49
レポート印刷	125

brother